

消 防 年 報

令 和 2 年 版

小千谷市消防本部

はじめに

小千谷地域の消防組織については、昭和54年4月1日に小千谷市及び川口町の1市1町で小千谷市川口町衛生消防組合として発足し、昭和63年4月1日山古志村の加入により小千谷地域広域事務組合の「小千谷地域消防本部・消防署」として広域消防に取り組んできました。

その後、平成17年に山古志村、平成22年に川口町が長岡市へ合併し、平成22年3月30日をもって小千谷地域広域事務組合は解散となり、31日から小千谷市が事務を引き継ぐとともに長岡市川口地域（旧川口町）の消防事務を受託し、「小千谷市消防本部・消防署」として現在に至っています。

この消防年報は、消防本部管内の消防概況及び令和2年中における消防業務に関する諸業務について収録することにより、消防行政を推進する資料として活用するとともに、広く一般に紹介し、消防行政に対する理解を深めていただくために作成したものです。

本書により消防の現状を御理解いただくとともに、今後とも一層の御支援と御協力を賜れば幸いに存じます。

なお、火災・救急・気象などについては、令和2年1月から12月までの1年間の統計であります。予算、施設及び人員等は会計年度、消防現勢については令和3年4月1日現在としました。

目 次

総務関係

1	小千谷市消防の沿革	1
2	小千谷市消防本部の管轄区域の位置・地勢	6
3	管轄区域の情勢	
	(1) 人口・世帯数	7
	(2) 面積・広ぼう	7
	(3) 市街地・準市街地等の状況	7
	(4) 消防職員及びポンプ車の人口・世帯に対する割合	8
4	消防庁舎の現況	8
5	小千谷市消防本部・署の機構	9
6	歴代消防長・署長	
	(1) 消防長	10
	(2) 署長	11
7	階級別消防職員状況	12
8	階級別消防職員年齢表	12
9	消防力の整備指針と現況	13
10	消防予算	
	(1) 一般会計に対する割合	14
	(2) 人口・世帯に対する割合	14
	(3) 令和3年度予算状況	15
	(4) 一般会計との比・人口世帯との比	15
11	消防財産	16
12	消防通信施設	
	(1) 通信指令施設	17
	(2) 無線設備	18
	(3) 非常用通信設備	22
	(4) 119回線による火災・救急等受信回数	23
13	気象観測	
	(1) 気象に関する警報・注意報等の受信状況一覧	24
	(2) 気象統計	25

予防関係

1	防火対象物の現況、防火管理者選任状況	30
---	--------------------	----

2	建築同意事務処理状況	
(1)	過去5年間の処理状況	3 2
(2)	月別処理状況	3 2
(3)	用途地域別・構造等別	3 2
(4)	用途別・工事別	3 3
3	中高層建築物の現況	3 4
4	危険物製造所等の地区別施設数及び現年度指定数量別施設数	3 5
5	危険物製造所等の年間事務処理状況	3 6
6	試験・測定資器材	3 7
7	火災概要表	3 8
8	過去5年間の火災発生状況	4 1
9	過去5年間の月別火災発生状況	4 1

警防関係

1	火災・風水害等件数状況	4 2
2	消防水利	4 3
3	消防資機材装備状況	4 4
4	水防資材備蓄状況	4 4
5	消防車両一覧	4 5

救急救助関係

救急関係

1	事故種別出場状況	4 6
2	事故種別出場比率	4 7
3	地区別出場状況	4 8
4	時間別出場状況	4 9
5	曜日別出場状況	5 0
6	月別出場状況	5 1
7	現場到着所要時間別出場件数の状況	5 2
8	事故種別搬送人員収容所要時間状況	5 3
9	年齢別・程度別・事故種別搬送人員数	5 4
1 0	過去5年間の事故種別出場状況	5 5
1 1	過去10年間の出場件数の推移	5 6
1 2	搬送人員別医療機関問合せ回数	5 6
1 3	転送回数別搬送人員・転送理由	5 6
1 4	熱中症件数	5 6
1 5	事故種別収容医療機関状況	5 7

1 6	ドクターヘリ要請状況	5 7
1 7	署所別出場状況	5 8
1 8	覚知別出場状況	5 8
1 9	搬送傷病者居住地状況	5 8
2 0	発生場所別搬送人員数	5 8
2 1	応急処置等実施状況	5 9
2 2	救急資器材	6 0
2 3	訓練用資器材	6 0

救助関係

2 4	事故種別、発生場所別救助出動状況	6 1
2 5	事故種別、発生場所別救助活動状況	6 1
2 6	事故種別、発生場所別救助人員状況	6 1
2 7	救助器具	6 2

消防団関係

1	消防団組織図	6 3
2	歴代消防団長	6 4
3	消防団の編成	6 5
4	消防団員の数	6 5
5	消防団員の階級別報酬	6 5
6	消防団員の費用弁償	6 5
7	消防車両・小型動力ポンプ配置一覧	6 6
8	消防団無線設備	6 7
9	消防器具置場等施設の数	6 9
1 0	令和2年度中の主な工事等の状況	6 9
1 1	消防団協力事業所数	6 9

協力団体

1	小千谷地域防火管理協会	7 0
2	新潟県危険物安全協会小千谷地区支会	7 1
3	小千谷市幼少年防火委員会	7 2
4	小千谷市婦人防火クラブ連絡協議会	7 4



總務關係

1 小千谷市消防の沿革

年	月	記 事
昭和	24年 8月	小千谷町役場職員による常備消防隊発足
	26年 1月	本町・町役場に隣接し消防庁舎完成
	10月	専任職員 7 名による常備消防本部を設立
	29年 3月	小千谷町、城川村、千田村の合併により小千谷市制施行
	32年 10月	消防無線が初めて導入される
	34年 8月	小千谷市消防本部・消防署の設立（16名）
	35年 6月	危険物安全協会北魚沼地区支会発足
	36年 5月	第12回新潟県消防大会開催
	40年 7月	小千谷市防火管理協会発足
	10月	既存庁舎が手狭となり、市民体育館下に仮移転する
	41年 7月	専用車による本格的な救急業務を開始
	44年 7月	総員 36 名となり、一応の増員計画を終了する
	11月	化学車配備
	45年 10月	第2回全国消防操法大会に小千谷市消防団が、「小型ポンプの部」に出場
	47年 3月	城内 1 丁目に消防庁舎完成
	49年 9月	2B型救急車配備、救急車 2 台となり救急体制が充実する
	10月	24m級はしご車配備
	50年 4月	職員が 4 名増員され、定員 40 名となる
	52年 11月	救助工作車配備
	53年 11月	通信指令装置導入
	54年 4月	消防業務が小千谷市川口町衛生消防組合として広域化され新体制で発足 (定員 52 名)
	55年 4月	川口出張所開設 (定員 11 名)
	56年 4月	消防長が専任制となる
	10月	小千谷地域少年消防クラブ運営指導協議会発足
	12月	水槽付消防ポンプ自動車 (3,000ℓ) 配備
	57年 2月	小千谷市消防団が日本消防協会より「纏」を授賞
	3月	高速自動車国道関越自動車道 (長岡インター～越後川口インター間) 供用開始
	4月	高速救急隊設置により 4 名増員となる
	7月	小千谷地域少年婦人防火委員会発足
	12月	高速自動車国道関越自動車道 (長岡インター～小出インター間) 供用開始
	58年 8月	第34回新潟県消防大会開催(会場 小千谷小学校)
	59年 8月	2B型救急車(4WD)導入(日本赤十字社寄贈)

年	月	記 事
59年	9月	第1回消防フェスティバル開催
60年	11月	小千谷地域防火管理協会発足20周年記念、防火講演会の開催（サンプラザ）
62年	2月	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型更新
	10月	小千谷市川口町衛生消防組合消防庁舎、訓練塔を新築移転
		第3回全国婦人消防操法大会において、「芋坂・時之島婦人消防隊」が優勝する
昭和	63年 4月	山古志村の加入により、小千谷地域広域事務組合と名称変更する（定員66名）
	11月	山古志出張所開設（職員9名）
平成	元年 4月	職員4名増員され65名となる
	2年 10月	第12回全国消防操法大会に小千谷市消防団が「小型ポンプの部」に出場する
	4年 4月	職員2名増員され67名となる
	10月	第13回全国消防操法大会に小千谷市消防団が「ポンプ車の部」に出場し、新潟県初の優良賞を受賞する
	5年 3月	救助工作車Ⅱ型（伸縮式照明装置付）更新
	4月	職員2名増員され69名となる
	6年 4月	職員2名増員され71名となる
	12月	川口出張所消防ポンプ自動車CD-I型更新
	7年 10月	第11回全国婦人消防操法大会において「上ノ山婦人消防隊」が優良賞を受賞する
	11月	小千谷地域防火管理協会設立30周年記念、防火講演会の開催（市民会館）
	8年 3月	37m級はしご車更新
	9月	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型導入（日本損害保険協会寄贈）
	11月	高規格救急車配備
	12月	蒲原沢土石流災害新潟県応援派遣隊、第1次隊及び第5次隊として、それぞれ5名を派遣
	9年 7月	山古志出張所救急車更新（日本赤十字社寄贈）
	10月	消防ポンプ自動車CD-I型更新
	10年 9月	小千谷市総合防災訓練実施
	11年 7月	川口出張所高規格救急車配備
	12年 8月	2B型救急車（4WD）導入（日本赤十字社寄贈）
	14年 3月	川口出張所訓練塔更新
	4月	新潟県消防防災航空隊へ1名派遣（2ヵ年間）
	6月	信濃川・魚野川水防演習参加（高梨地先）
	15年 2月	消防本部融雪施設（さく井）工事

年・月	記 事
平成 15年 3月	消防緊急通信指令装置導入
9月	新潟県・小千谷市合同総合防災訓練実施
11月	高規格救急車（救急1号車）更新 緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練参加(新潟市)
12月	地域省エネルギー普及促進事業による消防庁舎空調・照明工事
平成 16年 7月	7. 13水害が発生し、新潟県広域応援隊として、救助隊(ボート隊延べ16名)を中之島町へ、救急隊(延べ9名)を見附市及び三条市へ派遣 管内に7. 16水害が発生
8月	指令広報車（指令5号車）更新
10月	23日川口町を震源とする「新潟県中越大震災」が発生、新潟県広域応援隊及び緊急消防援助隊を受援
平成 17年 4月	山古志村が長岡市への合併に伴い組合を離脱、山古志出張所及び備品等に移管し職員8名が長岡市へ移籍（定員63名）
11月	携帯119番直接受信整備工事
平成 18年 2月	小千谷市消防団に司令車配備（日本消防協会寄贈）
6月	水槽付消防用自動二輪車（ミストドラゴン）2台配備（日本機械工業(株)寄贈）
11月	川口出張所訓練塔災害復旧工事
平成 19年 1月	消防庁舎車庫増築工事
2月	消防ポンプ自動車（災害対応型）配備
7月	新潟県中越沖地震発生、新潟県広域応援隊として消防隊(延べ25名)及び救急隊(延べ6名)を柏崎市へ派遣
9月	資機材運搬車（指令2号車）更新
平成 20年 9月	消防庁舎アスベスト除去工事
11月	本署救急車(救急2号車)更新（日本赤十字社寄贈）
平成 21年 2月	化学消防ポンプ自動車(化学1号車)更新
平成 22年 3月	川口町と長岡市の合併に伴い、小千谷地域広域事務組合を解散 小千谷市消防本部・消防署に組織及び名称変更 長岡市川口地域の消防事務を受託
9月	消防緊急通信指令装置改修工事
12月	救助工作車Ⅱ型更新
平成 23年 3月	11日宮城県沖を震源とする「東北地方太平洋沖地震」が発生 緊急消防援助隊として消火部隊(延べ55名)及び後方支援部隊(延べ20名)を宮城県石巻市へ派遣

年・月	記 事
平成 23年 7月	新潟・福島豪雨が発生し、新潟県広域応援隊として救助隊（ボート隊延べ5名）を三条市へ派遣 小千谷市豪雨災害対策本部設置
9月	消防庁舎照明設備改修工事（LED照明入替）
平成 24年 1月	小千谷市豪雪災害対策本部設置
2月	高規格救急車（川口救急1号車）更新
4月	新潟県消防防災航空隊へ1名派遣（3ヵ年間）
5月	南魚沼市トンネル事故が発生し、新潟県広域応援隊として救助隊（延べ15名）を南魚沼市へ派遣
9月	小千谷市総合防災訓練実施 位置情報通知システム（統合型）設置
12月	消防ポンプ自動車（川口ポンプ1号車）更新 本部消雪井戸改修工事
平成 25年 1月	小千谷市豪雪警戒本部設置
2月	小千谷市豪雪災害対策本部設置
6月	消防庁舎空調メンテナンス工事
12月	川口出張所浴室等改修工事
平成 26年 3月	消防救急デジタル無線設備設置
4月	消防救急デジタル無線運用開始
7月	第65回新潟県消防大会開催（小千谷大会）
10月	高規格救急車（小千谷救急2号車）更新
平成 27年 7月	川口出張所指令広報車更新
9月	関東東北豪雨が発生し、緊急消防援助隊として消火部隊5名を茨城県常総市へ派遣 気象観測装置更新（元中子）
10月	川口出張所ロータリー除雪機更新
11月	塩谷気象観測装置を新潟大学から譲受
12月	消防ポンプ自動車（小千谷ポンプ1号車）更新
平成 28年 7月	消防庁舎南面外壁タイル改修工事 消防庁舎高圧受電設備改修工事
8月	多目的車（指令1号車）更新 防火指導車（指令3号車）更新
12月	糸魚川大規模火災が発生し、新潟県広域応援隊として消火隊（延べ10名）を糸魚川市へ派遣
平成 29年 1月	特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（タンク1号車）更新
7月	小千谷市豪雨災害対策本部設置
9月	消防庁舎東面外壁タイル改修工事

年 ・ 月	記 事
平成 30年 2月	小千谷市豪雪災害対策本部設置
3月	災害時及び火災発生時の応援業務に関する協定締結（魚沼地区生コンクリート協同組合）
9月	消防庁舎北面外壁タイル改修工事
9月	消防庁舎玄関庇漏水修繕工事
平成 31年 3月	はしご付消防ポンプ自動車更新
4月	女性消防職員 1 名採用
令和 元年 8月	女性消防職員仮眠室等整備工事
9月	防火広報車（指令 5 号車）更新
9月	防火衣一式更新（2 ヶ年計画）
10月	大型台風19号の影響により、10月13日（10:20）信濃川水位が観測史上最高の50.19mを記録し、小千谷市は災害対策本部を設置し警戒にあたる。
10月	無人航空機（ドローン）運用開始
12月	高規格救急車（救急 2 号車）更新
12月	高度救命処置用資機材更新
令和 2年 4月	新潟県消防学校へ 1 名派遣（2 ヶ年）
4月	退職者を再任用職員として 1 名採用
4月	タブレット端末を救急車に積載し、ICT活用した傷病者の情報収集を開始
11月	新型コロナウイルス感染症対策として仮眠室ベッドにパネル及びカーテンを設置
令和 3年 2月	気象観測装置更新（塩谷）

2 小千谷市消防本部の管轄区域の位置・地勢

当消防本部は、新潟県の中央部やや南に位置し、管轄区域は、小千谷市及び長岡市川口地域（旧川口町：長岡市から消防事務を受託）です。



	方位	経緯度
東経	極東	138度 54分
	極西	138度 44分
北緯	極北	37度 23分
	極南	37度 12分

3 管轄区域の情勢

(1) 人口・世帯数

令和3.4.1 現在

地域区分	平成27年10月国勢調査		令和3年3月末住民基本台帳	
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数
小千谷市	36,498	12,165	34,318	12,635
長岡市川口地域	4,477	1,384	4,157	1,497
合 計	40,975	13,549	38,475	14,132

地域区分	令和3年3月末現在人口		
	人 口	日本人	外国人
小千谷市	34,318	34,103	215
長岡市川口地域	4,157	4,137	20
合 計	38,475	38,240	235

(2) 面積・広ぼう

令和3.4.1 現在

地域区分	面積 (k m ²)	広 ば ろ う (km)		周囲 (km)	標 高 (m)	
		東 西	南 北		最 高	最 低
小千谷市	155.19	17.21	20.01	86.1	581.0	27
長岡市川口地域	50.03	4.10	15.00	49.0	433.5	50
合 計	205.22	—	—	—	—	—

(3) 市街地・準市街地等の状況

地域区分	市 街 地 域 数	準市街地地域数			その他の地域数 (有・無)
		5,000人以上 10,000人未満	3,000人以上 5,000人未満	1,000人以上 3,000人未満	
小千谷市	1	1	1	3	有
長岡市川口地域	—	—	—	2	有
合 計	1	1	1	5	

※ 令和元年度消防力の整備指針に基づく市町村消防施設整備計画実態調査の数値

(4) 消防職員及びポンプ車の人口・世帯に対する割合

令和3.4.1 現在

区 分	消防職員1名当り			消防ポンプ自動車1台当り		
	人 口	世 帯 数	面 積	人 口	世 帯 数	面 積
	人	世帯	k m ²	人	世帯	k m ²
	6 2 1	2 2 8	3. 3	7, 6 9 5	2, 8 2 6	4 1. 0
職員・ポンプ車数	6 2 名			5 台		

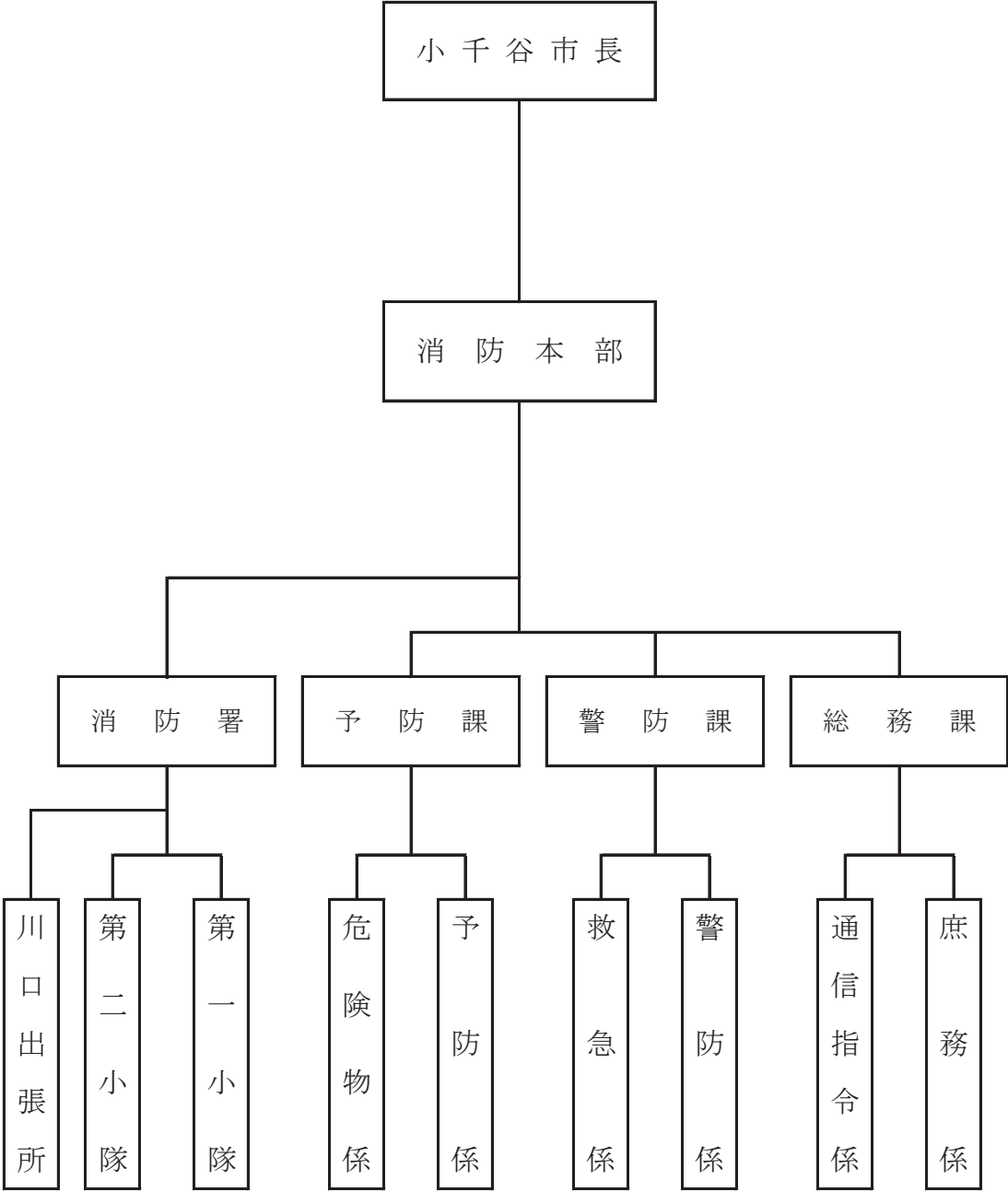
人口、世帯数は小数点以下四捨五入
面積は小数点第2位以下四捨五入

4 消防庁舎の現況

区 分	所 在 地	構 造	設置年月日	面 積 (m ²)		
				敷 地	建 築	延
消防本部 消 防 署	小千谷市城内 3丁目1番9号	鉄筋コン クリート 3階建	昭和62年 10月 1日	3, 701. 21	739. 09	1, 609. 11
川口出張所 (長岡市貸与)	長岡市 川口牛ヶ島 160番地3	鉄筋コン クリート 2階建	昭和55年 4月 1日	662. 00	96. 00	194. 76

5 小千谷市消防本部・署の機構

令和3.4.1 現在



6 歴代消防長・署長

(1) 消防長

令和3.4.1 現在

区分	氏名	在任期間	備考
消防長	初位 下松五郎	S 29. 3. 10 ~ S 30. 4. 12	市長兼務
	2 位 下松五郎	S 30. 5. 1 ~ S 34. 4. 20	〃
	3 佐藤 武	S 34. 5. 1 ~ S 38. 4. 29	〃
	4 佐藤 武	S 38. 4. 30 ~ S 42. 4. 29	〃
	5 佐藤 武	S 42. 4. 30 ~ S 46. 4. 29	〃
	6 佐藤 武	S 46. 4. 30 ~ S 50. 4. 29	〃
	7 星野 行男	S 50. 4. 30 ~ S 54. 4. 29	〃
	8 星野 行男	S 54. 4. 30 ~ S 56. 3. 31	〃
	9 若井 保	S 56. 4. 1 ~ S 60. 3. 31	
	10 石坂 和男	S 60. 4. 1 ~ S 61. 12. 31	
	11 風間 久司	S 62. 1. 1 ~ S 62. 4. 30	(消防長心得)
	12 羽鳥 昌治	S 62. 5. 1 ~ H 2. 3. 31	
	13 山口 恒	H 2. 4. 1 ~ H 4. 3. 31	
	14 風間 久司	H 4. 4. 1 ~ H 11. 3. 31	
	15 本田 晃一	H 11. 4. 1 ~ H 13. 3. 31	
	16 金箱 貞夫	H 13. 4. 1 ~ H 15. 3. 31	
	17 中村 繁一	H 15. 4. 1 ~ H 17. 3. 31	
	18 横山 貴吉	H 17. 4. 1 ~ H 20. 3. 31	
	19 風間 隆一	H 20. 4. 1 ~ H 21. 3. 31	
	20 瀬沼 賢一	H 21. 4. 1 ~ H 24. 3. 31	
	21 大塚 幸夫	H 24. 4. 1 ~ H 26. 3. 31	
	22 安藤 高志	H 26. 4. 1 ~ H 28. 3. 31	
	23 瀬沼 務	H 28. 4. 1 ~ H 29. 3. 31	
	24 和田 孝史	H 29. 4. 1 ~ H 30. 3. 31	
	25 渡邊 秀樹	H 30. 4. 1 ~ 現在に至る	

(2) 署長

令和3.4.1 現在

区分	氏名	在任期間	備考	
署長	初	山崎留吉	S 34. 8. 1 ~ S 35. 3. 31	
	2	平沢恭栄	S 35. 4. 1 ~ S 40. 9. 30	
	3	和田耕作	S 40. 10. 1 ~ S 48. 3. 31	
	4	岡 忠	S 48. 4. 1 ~ S 51. 3. 31	
	5	和田明	S 51. 4. 1 ~ S 56. 3. 31	
	6	若井保	S 56. 4. 1 ~ S 58. 6. 30	
	7	風間久司	S 58. 7. 1 ~ H 2. 3. 31	
	8	本田晃一	H 2. 4. 1 ~ H 11. 3. 31	
	9	西脇英郎	H 11. 4. 1 ~ H 16. 3. 31	
	10	篠田敏治	H 16. 4. 1 ~ H 17. 3. 31	
	11	風間隆一	H 17. 4. 1 ~ H 20. 3. 31	
	12	安藤高志	H 20. 4. 1 ~ H 26. 3. 31	
	13	瀬沼務	H 26. 4. 1 ~ H 28. 3. 31	
	14	和田孝史	H 28. 4. 1 ~ H 29. 3. 31	
	15	渡邊秀樹	H 29. 4. 1 ~ H 30. 3. 31	
	16	内山康司	H 30. 4. 1 ~ H 31. 3. 31	
	17	村山博	H 31. 4. 1 ~ 現在に至る	

7 階級別消防職員状況

令和3.4.1 現在
(条例定数 63 人)

階級 区分	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副士長	消防士	合計
消防本部(署)	1	7	21	6	4	12	51
川口出張所		2	3	1	1	4	11
合計	1	9	24	7	5	16	62

8 階級別消防職員年齢表

令和3.4.1 現在

階級 区分	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副士長	消防士	合計
20才以下						2	2
21～25才						11	11
26～30才					4	3	7
31～35才				4	1		5
36～40才			7	3			10
41～45才			6				6
46～50才		1	8				9
51～55才		5	2				7
56才以上	1	3	1				5
計	1	9	24	7	5	16	62
平均年齢	59.0	52.9	44.8	34.4	29.0	23.4	38.2

(少数点第2位以下四捨五入)

9 消防力の整備指針と現況

令和3.4.1 現在

車両区分及び適用条項	隊員	国 基準台数 (台)	市 基準台数 (台)	現有台数 (台)	市 基準人員 (人)	現有人員 (人)
消防ポンプ自動車 (第5条)	消防隊員 (第27条)	2	2 ※参照	2 ※参照	30	17
消防ポンプ自動車 (第5条 第5項)			1	1	12	10
はしご自動車 (第7条)		1	1	1	消防隊員 乗換運用	
化学消防車 (第8条)		2	1 ※参照	1 ※参照		
救急自動車 (第13条)	救急隊員 (第28条)	3	3	3	9	9
救助工作車 (第14条)	救助隊員 (第29条)	1	1	1	15	8
指揮車 (第15条)	指揮隊員 (第30条)	1	1	1	9	4
特殊車等 (第16条)	消防隊員 (第27条)		3	3	消防隊員 救助隊員 乗換運用	
非常用消防ポンプ自動車 (第17条 第1項)			1	1		
非常用救急自動車 (第17条 第2項)		1	1	1		
非常用消防用自動車等 (第17条 第3項)			1	1		
通信員 (第31条)					6	6
予防要員 (第32条)					6	2
庶務の処理等の人員 (第34条)					6	6
合 計		11	16	16	93	62

※ 消防ポンプ自動車2台のうち1台に泡放出装置装備車を配備し、化学消防車「国基準台数2台」から不足している本市現状（市基準台数及び現有台数1台）を補完する。

10 消防予算

(1) 一般会計に対する割合

(単位：千円)

年度別	一般会計 決算額	消防費 決算額	比率 %	消 防 費 内 訳				
				常 備 消防費	非常備 消防費	消 防 施設費	水防費	防災費
26	17,620,359	707,919 (105,717)	4.0	551,725 (105,717)	60,379	25,864	459	69,489
27	16,546,661	749,388 (112,258)	4.5	569,946 (112,258)	54,341	41,899	373	82,827
28	18,391,929	766,889 (121,556)	4.2	592,947 (121,556)	55,853	37,357	452	80,279
29	16,779,931	687,481 (120,112)	4.1	528,798 (120,112)	55,789	39,198	985	62,708
30	17,145,175	927,808 (125,255)	5.4	738,905 (125,255)	58,610	47,101	276	82,914
R1	17,720,543	786,766 (132,077)	4.4	575,165 (132,077)	58,227	46,040	1,671	105,662

※ () 内の数値は長岡市からの委託費。

(2) 人口・世帯に対する割合

年度別	消 防 費 決算額(千円)※	人 口 に 対 す る 割 合		世 帯 に 対 す る 割 合	
		人口(人)	1人当り(円)	世帯数	1世帯当り(円)
26	602,202	37,836	15,916	12,691	47,451
27	637,130	37,471	17,003	12,750	49,971
28	645,333	36,957	17,462	12,743	50,642
29	567,369	36,454	15,563	12,723	44,593
30	802,553	35,955	22,321	12,744	62,974
R1	654,689	35,507	18,438	12,706	51,525

※長岡市からの委託費を除く。

(3) 令和3年度予算状況

(単位：千円)

市 区 分	消 防 費					
	合 計	常 備 消防費	非常備 消防費	消 防 施設費	水防費	防災費
小千谷市 (川口地域)	789,077	589,453 (110,485)	61,557	26,368	1,369	110,330

※ () 内の数値は、長岡市からの委託費。

(4) 一般会計との比 ・ 人口世帯との比

市 区 分	令和3年度当初予算			消防費予算額の 人口に対する割合		消防費予算額の 世帯に対する割合	
	一般会計 (千円)	消防費 (千円) ※	比率 (%)	人 口 (人)	1 人 当 り (円)	世 帯 数	1 世 帯 当 り (円)
小千谷市	16,950,000	678,592	4.0	34,318	19,774	12,635	53,707

※ 長岡市からの委託費を除く。

注 消防予算の表中、常備消防費、比率、人口、世帯に対する割合については、次のように表してあります。

- ・一般会計に対する消防費の比率は、少数点第2位以下四捨五入
- ・人口、世帯数に対する消防費の割合は、少数点以下四捨五入

1 1 消防財産

令和3.4.1 現在

区分	名 称	数 量	備 考
消 防 本 部 ・ 消 防 署	消防ポンプ自動車	3 台	
	はしご付消防自動車	1 台	
	化学消防自動車	1 台	
	水槽付消防ポンプ自動車	1 台	
	救助工作車	1 台	
	高規格救急自動車	3 台	
	高度救命処置用機材	3 式	
	多目的車	1 台	
	資器材運搬車	1 台	
	防火指導車	1 台	
	防火広報車	1 台	
	指令広報車	1 台	
	非常用救急自動車	1 台	
	救命ボート	1 隻	
	小型除雪車	1 台	
	消防救急デジタル無線装置	1 式	
	位置情報通知システム（統合型）	1 式	
	消防緊急通信指令システム	1 式	
	消防情報支援システム	1 式	
	気象観測装置	2 式	元中子、塩谷地内設置
雨量観測計（5台分）	1 式		
高度救命処置訓練人形	1 体		
空気ボンベ充填高圧コンプレッサー	1 式		
消 防 団	消防ポンプ自動車	5 台	
	積載車	3 4台	
	司令車	1 台	
	指揮広報車	1 台	
	水出し操法用小型動力ポンプ	1 台	
	緊急時用飲料水精製装置	1 台	

※1件100万円以上の物品及び車両

1 2 消防通信施設

(1) 通信指令施設

令和3.4.1 現在

装置の名称	装置の機能		
		容量	実装
指令台 消防緊急通信指令システム 富士通	119番受付回線	20	8
	指令回線	15	2
	局線回線	10	1
	専用回線	10	4
	内線回線	5	2
	自動順次指令装置	10	5
	自動案内装置 (テレフォンガイド)	災害出動に伴う内容を音声によって案内するサービス。 TEL 83-3030	30
情報収集装置	119回線の着信応答時、録音開始時刻を記録するとともに通話音声を自動録音する。(デジタル録音媒体) 主録音装置 (1台) TAKACOM VR-464		
非常用指令設備	指令電話装置の中核機能障害時、指令台に代わって119番の受信及び個別指令ができる機能を有する。		
位置情報通知システム	NTT固定電話・IP電話及び携帯電話等から119番通報時の発信位置情報が通知され、位置を指令装置地図上に表示する。		
メール119通報	事前に登録した聴覚障がい者より、携帯電話メール及びパソコンメールで119番要請を専用のパソコンで受信する。		

(2) 無線設備

☆ デジタル無線 (基地局・固定局)

令和3.4.1 現在

呼 出 名 称	出力(W)	配 置 場 所	備 考
おぢやしょうぼうほんぶ	10	消防本部・署	活動波 1 (市波) 活動波 2 (団波) 活動波 3 (救急波) 主運用波 統制波 1
おぢやしょうぼうやまもとやま	1	山本山	統制波 2 統制波 3

☆ アナログ無線 (基地局)

令和3.4.1現在

呼 出 名 称	出力(W)	配 置 場 所	備 考
おぢやしょうぼうほんぶ	10	消防本部・署	防災相互波

☆ アナログ無線 (移動局)

携 帯 無 線 機	5W	3台
-----------	----	----

☆ デジタル無線陸上移動局

令和3.4.1 現在

呼 出 名 称	活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波			複信	配置場所	出力(W)	製造年
					1	2	3				
おぢやたんく 1	○	○	○	○	○	○	○		タンク車	10	H25
おぢやぼんぷ 1	○	○	○	○	○	○	○		ポンプ1号車	10	H25
おぢやぼんぷ 2	○	○	○	○	○	○	○		ポンプ2号車	10	H25
おぢやかagak 1	○	○	○	○	○	○	○		化学車	10	H25
おぢやきゅうじょ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	救助工作車	10	H25
おぢやはしご 1	○	○	○	○	○	○	○		梯子車	10	H25
おぢやきゅうきゅう 1	○	○	○	○	○	○	○	○	救急1号車	10	H25
おぢやきゅうきゅう 2	○	○	○	○	○	○	○	○	救急2号車	10	H25
おぢやしれい 1	○	○	○	○	○	○	○		指令1号車 (多目的車)	10	H25
おぢやしれい 2	○	○	○	○	○	○	○		指令2号車 (資機材運搬車)	10	H25
おぢやしれい 3	○	○	○	○	○	○	○		指令3号車 (防火指導車)	10	H25
おぢやしれい 5	○	○	○	○	○	○	○	○	指令5号車 (指揮車)	10	H25
おぢやたんく 11	○	○	○	○	○	○	○		タンク車線 携帯無	5	H25
おぢやたんく 12	○	○	○	○	○	○	○		筒先用線 携帯無	5	H25
おぢやぼんぷ 11	○	○	○	○	○	○	○		ポンプ1号車線 携帯無	5	H25
おぢやぼんぷ 12	○	○	○	○	○	○	○		筒先用線 携帯無	5	H25
おぢやぼんぷ 21	○	○	○	○	○	○	○		ポンプ2号車線 携帯無	5	H25
おぢやぼんぷ 22	○	○	○	○	○	○	○		筒先用線 携帯無	5	H25
おぢやかagak 11	○	○	○	○	○	○	○		化学車線 携帯無	5	H25

呼 出 名 称	活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波			複信	配 置 場 所	出力(W)	製造年
					1	2	3				
おぢやかagak 12	○	○	○	○	○	○	○		筒 先 用 携 帯 無 線	5	H25
おぢやきゅうじよ 11	○	○	○	○	○	○	○		救 助 工 作 車 携 帯 無 線	5	H25
おぢやはしご 11	○	○	○	○	○	○	○		梯 子 車 携 帯 無 線	5	H25
おぢやきゅうきゅう 11	○	○	○	○	○	○	○		救 急 1 号 車 携 帯 無 線	5	H25
おぢやきゅうきゅう 21	○	○	○	○	○	○	○		救 急 2 号 車 携 帯 無 線	5	H25
おぢやしれい 10	○	○	○	○	○	○	○		署 長 用 携 帯 無 線	5	H25
おぢやしれい 11	○	○	○	○	○	○	○		副 署 長 用 携 帯 無 線	5	H25
おぢやしれい 12	○	○	○	○	○	○	○		予 防 課 長 用 携 帯 無 線	5	H25
おぢやしれい 13	○	○	○	○	○	○	○		総 務 課 長 用 携 帯 無 線	5	H25
おぢやしれい 14	○	○	○	○	○	○	○		小 隊 長 用 携 帯 無 線	5	H25
おぢやしれい 15	○	○	○	○	○	○	○		副 小 隊 長 用 携 帯 無 線	5	H25
おぢやしれい 16	○	○	○	○	○	○	○		消 防 業 務 用 携 帯 無 線	5	H25
おぢやしれい 17	○	○	○	○	○	○	○		消 防 業 務 用 携 帯 無 線	5	H25
おぢやしれい 18	○	○	○	○	○	○	○		消 防 業 務 用 携 帯 無 線	5	H25
おぢやしれい 19	○	○	○	○	○	○	○		消 防 業 務 用 携 帯 無 線	5	H25
おぢやしれい 20	○	○	○	○	○	○	○		消 防 業 務 用 携 帯 無 線	5	H25
おぢやしれい 21	○	○	○	○	○	○	○		緊 援 隊 用 携 帯 無 線	5	H25
おぢやしれい 22	○	○	○	○	○	○	○		緊 援 隊 用 携 帯 無 線	5	H25
おぢやしき 1	○	○	○	○	○	○	○	○	現 場 指 揮 本 部 (可搬型無線)	10	H25
おぢやしき 2	○	○	○	○	○	○	○	○	現 場 指 揮 本 部 (可搬型無線)	10	H25
かわぐちしょうぼう 900	○	○	○	○	○	○	○		川 口 出 張 所 固 定 移 動 局	10	H25

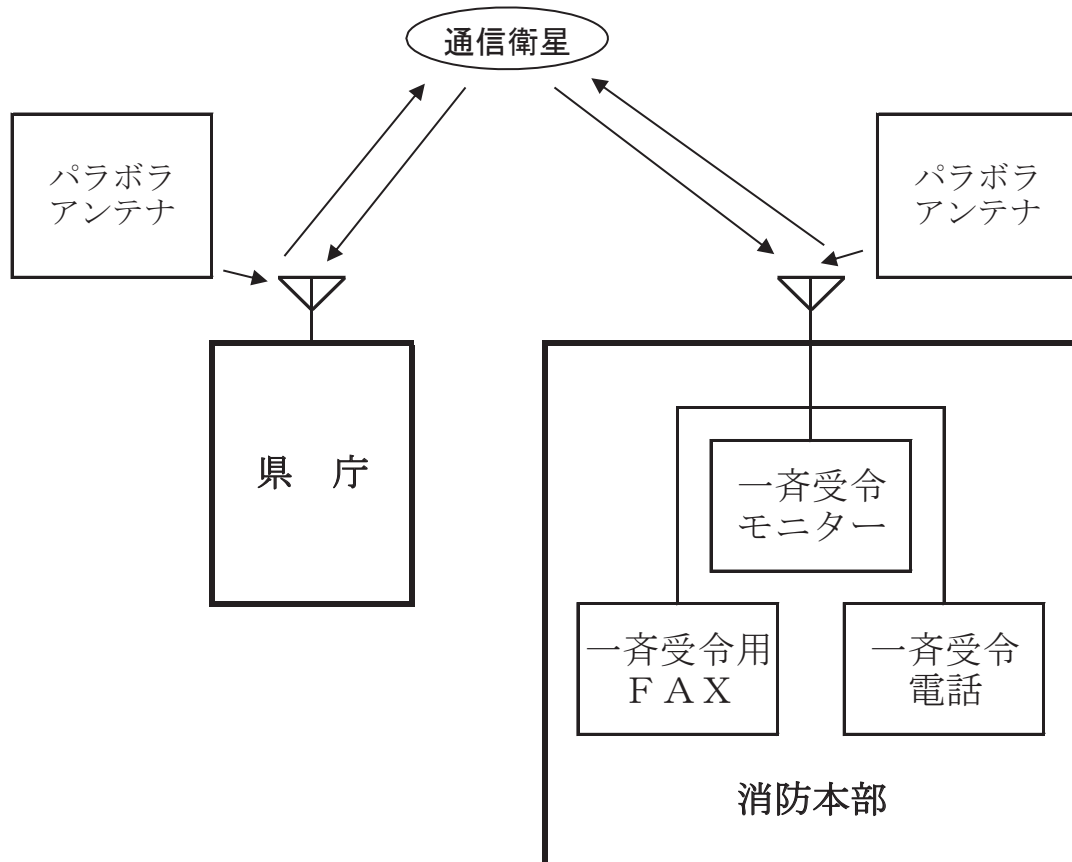
呼 出 名 称	活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波			複信	配置場所	出力(W)	製造年
					1	2	3				
かわぐちぼんぷ	1	○	○	○	○	○	○		川口ポンプ車	10	H25
かわぐちきゅうきゅう	1	○	○	○	○	○	○	○	川口救急車	10	H25
かわぐちしれい	1	○	○	○	○	○	○	○	川口指令車	10	H25
かわぐちぼんぷ	11	○	○	○	○	○	○		川口ポンプ車 携帯無線	5	H25
かわぐちぼんぷ	12	○	○	○	○	○	○		筒先用 携帯無線	5	H25
かわぐちきゅうきゅう	11	○	○	○	○	○	○		川口救急車 携帯無線	5	H25
かわぐちしれい	11	○	○	○	○	○	○		川口出張所長用 携帯無線	5	H25
かわぐちしれい	12	○	○	○	○	○	○		川口指令車 携帯無線	5	H25

車載無線機	10W	15台
現場指揮簡易基地局	10W	2台
固定移動局	10W	1台
携帯無線機	5W	30台

(3) 非常用通信設備

- 災害時優先電話 11回線
 - ・ 固定電話回線 6回線
 - ・ 携帯電話回線 5回線

- 防災行政無線（V S A T） 3点セット
 - ・ パラボラアンテナ
 - ・ 一斉受令用F A X
 - ・ 一斉受令電話



(4) 119回線による火災・救急等受信回数

☆ 119番専用回線受信状況（IP電話及びFAX含む。）

令和2.1.1～令和2.12.31

種別／月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災		4	2						1			1	8
救急	72	70	49	69	55	48	63	85	71	77	74	74	807
救助		3			1	1			2			2	9
その他の災害 (警戒含む)							3						3
いたずら・嘘					7								7
間違い				3		2	1	3	2	6	2	4	23
機器誤発報												4	4
通報訓練	4	4	7	15	12	27	11	6	11	45	36	21	199
企業試験	2	3	2	3	3	7	4	5	7	7	5	17	65
無言電話													0
各種問合せ					1	1	1	1	1		1		6
その他	7	10	9	1	9	10	16	22	6	7	8	11	116
転送	火災												0
	救急					1			1	1			3
	救助												0
	その他の災害											1	1
合計	85	94	69	91	89	96	99	123	102	142	126	135	1,251

前年(前年比) 1,347 (△96)

☆ 携帯119番専用回線受信状況

種別／月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災		2	1	1	7		2		1			2	16
救急	31	19	33	31	36	24	32	45	35	38	22	40	386
救助			1	1	3	2		2	2				11
その他の災害 (警戒含む)		1	1			1	2	2	2		1	1	11
いたずら・嘘				1		1	1						3
間違い	1	1	2	6	5	5	5	3	5	2	2	8	45
機器誤発報							1						1
通報訓練	2		1			9	1	3	2	8	2	5	33
企業試験													0
無言電話	1												1
各種問合せ			1		2	1	2	1	1	3		1	12
その他	17	16	12	4	13	19	53	86	154	73	16	6	469
転送	火災												0
	救急	4		1	3		4	4	4	5	7	2	34
	救助												0
	その他の災害												0
合計	56	39	53	47	66	66	103	146	207	131	43	65	1022

前年(前年比) 761 (261)

13 気象観測

(1) 気象に関する警報・注意報等の受信状況一覧（新潟地方気象台発表）

令和2. 1. 1～令和2. 12. 31

種 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
警 報	大雨												0
	洪水												0
	暴風												0
	暴風雪												0
	大雪											1	1
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

種 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
注 意 報	雷	10	9	8	9	7	13	16	14	10	6	8	9	119
	霜			10	10	1				1	7	2	31	
	低温		2										2	
	強風	1							2				3	
	乾燥			4	2	2					1		9	
	濃霧	4	8	9	2	5	3	6	2	5	10	10	8	72
	大雨													0
	洪水					1		1	2	3		2		9
	大雪		2										5	7
	なだれ	1	5	3									4	13
	融雪	1	2	2										5
	着雪		2										4	6
	着氷													0
風雪													0	
合 計	17	30	36	23	16	16	23	18	20	17	28	32	276	

※ 警報及び注意報の種別にあつては、当市が内陸部に位置することから波浪及び高潮を省略しています。

(2) 気象統計

☆ 月別気象観測統計

観測地：元中子／令和2.1.1～令和2.12.31

	気温(°C)			湿度(%)		風速(m/s)		気圧(hPa)		実効湿度(%)			雨量(mm)	
	平均	最高	最低	平均	最低	平均	最大	現地	海面	平均	最高	最低	総量	日最高
1月	3.5	16.2	-1.1	95.0	48.2	2.5	23.3	1010.4	1018.2	95.1	97.8	89.5	241.5	30.0
2月	3.0	15.6	-4.9	93.9	44.2	3.0	21.2	1012.6	1020.5	94.0	96.4	88.5	182.0	20.5
3月	6.6	22.0	-0.9	86.2	18.6	2.9	21.1	1007.3	1015.0	86.4	90.9	77.9	118.0	16.0
4月	9.1	24.7	0.2	84.1	16.1	3.0	17.1	1006.4	1014.1	84.6	89.8	77.7	147.0	22.0
5月	17.2	29.6	5.4	82.6	28.7	2.7	17.2	1003.6	1011.0	82.6	92.0	75.1	100.0	64.0
6月	22.0	32.1	13.9	86.0	34.6	2.3	14.3	999.8	1007.1	84.3	90.6	76.6	98.0	29.0
7月	23.2	30.7	18.2	95.5	60.9	1.8	12.3	1000.8	1008.0	94.9	96.9	91.7	346.5	60.0
8月	27.1	36.9	20.3	88.6	36.0	2.4	10.8	1003.4	1010.5	89.0	95.0	84.3	69.5	19.0
9月	23.3	36.5	12.2	88.5	49.5	2.5	18.0	1004.0	1011.2	88.2	92.7	81.0	179.5	53.0
10月	14.7	26.7	5.5	91.8	46.9	2.7	13.6	1010.1	1017.6	91.5	93.8	86.1	119.5	22.0
11月	9.6	24.3	1.3	92.4	37.9	2.9	14.9	1013.6	1021.2	91.9	95.3	89.3	278.5	46.5
12月	3.3	13.8	-3.1	96.3	60.8	2.8	15.3	1010.5	1018.4	95.8	97.6	92.7	430.5	62.5

※ 気象データは、元中子（小千谷市防災公園）に設置してある自動気象観測装置から消防本部へデータ転送されている。

☆ 月別天候・雪量集計

観測地：消防本部／令和2.1.1～令和2.12.31

	天 候					雪 量 (cm)		
	快晴	晴れ	曇り	雨	雪	総降雪	最高降雪	最高積雪
1月	1	17	232	108	16	15	8	8
2月	5	25	175	82	70	61	20	30
3月	7	88	216	56	6	3	3	3
4月		131	134	95				
5月	1	143	168	69				
6月	14	123	190	45				
7月		7	223	142				
8月		170	190	12				
9月	4	85	201	70				
10月	2	59	238	73				
11月		72	171	117				
12月		26	135	114	97	195	55	66
合 計	34	946	2,273	983	189			

※ 天候観測は、2時間毎に観測。(1日12回)

※ 天候の雪には、あられ・みぞれを含む。

※ 雪量は、午前9時に観測。(1日1回)

☆ 降積雪量観測集計

令和2年初雪～令和3年雪消

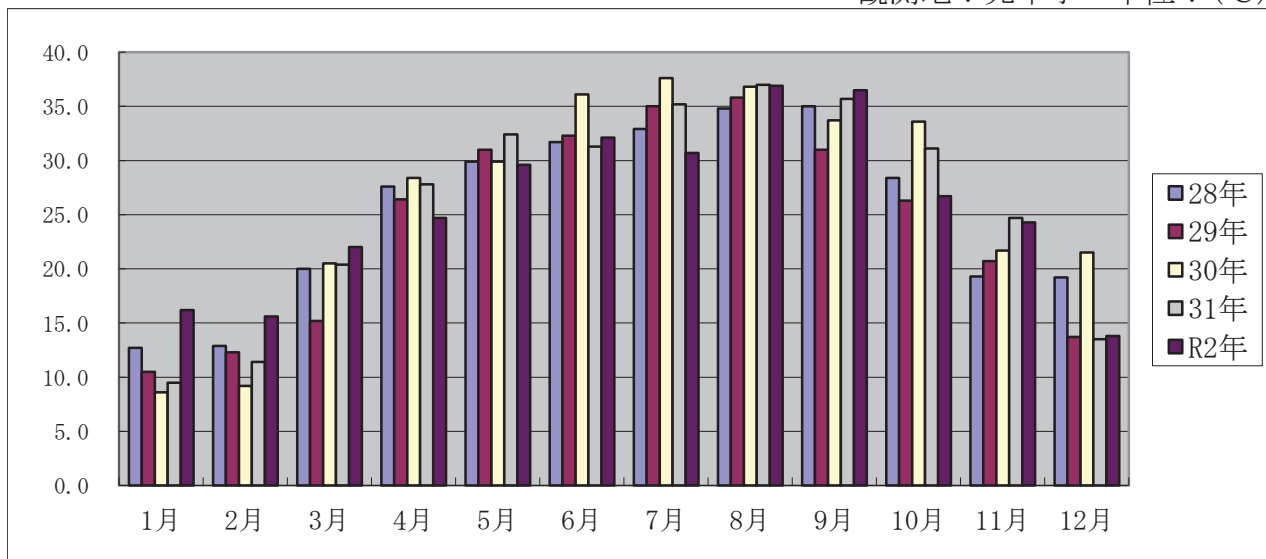
観測所名	降雪量 合計	最大 降雪量	最大 積雪量	根 雪			最大降雪量 全観測所 平均	最大積雪量 全観測所 平均	
				初日	終日	根雪期間			
県指定 観測所	元中子 ※1 (小千谷市防災公園)	-	-	1月11日 221cm	12月14日	3月29日	106日	68.8cm ※元中子及 び塩谷を除 く	268.5cm
	池ヶ原 (池中新田)	1190cm	1月2日 75cm	2月19日 291cm	12月14日	4月16日	124日		
	塩谷地区 ※1	-	-	2月19日 332.8cm	12月14日	4月21日	129日		
東山小学校 ※2	684cm	12月16日 58cm	2月19日 252cm	12月14日	4月5日	113日			
川井 (新田)	1101cm	1月1日 66cm	2月19日 277cm	12月14日	4月14日	122日			
岩沢 (市ノ口) ※2	1062cm	1月1日 67cm	2月19日 299cm	12月14日	4月15日	123日			
真人南部 (中山)	1360cm	12月16日 75cm	2月19日 332cm	12月14日	4月17日	125日			
真人北部 (市之沢)	1483cm	1月2日 83cm	2月19日 362cm	12月14日	4月18日	126日			
片貝中学校 ※2	466cm	1月8日 63cm	1月12日 187cm	12月14日	3月16日	93日			
千田中学校 ※2	485cm	1月8日 60cm	2月19日 205cm	12月14日	3月29日	106日			
消防本部	878cm	1月10日 73cm	1月11日 2月19日 195cm	12月14日	3月25日	102日			

※1 自動観測装置による観測のため降雪深及び最大降雪深については、観測不可能。

※2 各学校及び岩沢観測所については、休校日、土日祝日は観測を実施していない。

☆ 過去5年間1月～12月の最高気温調べ

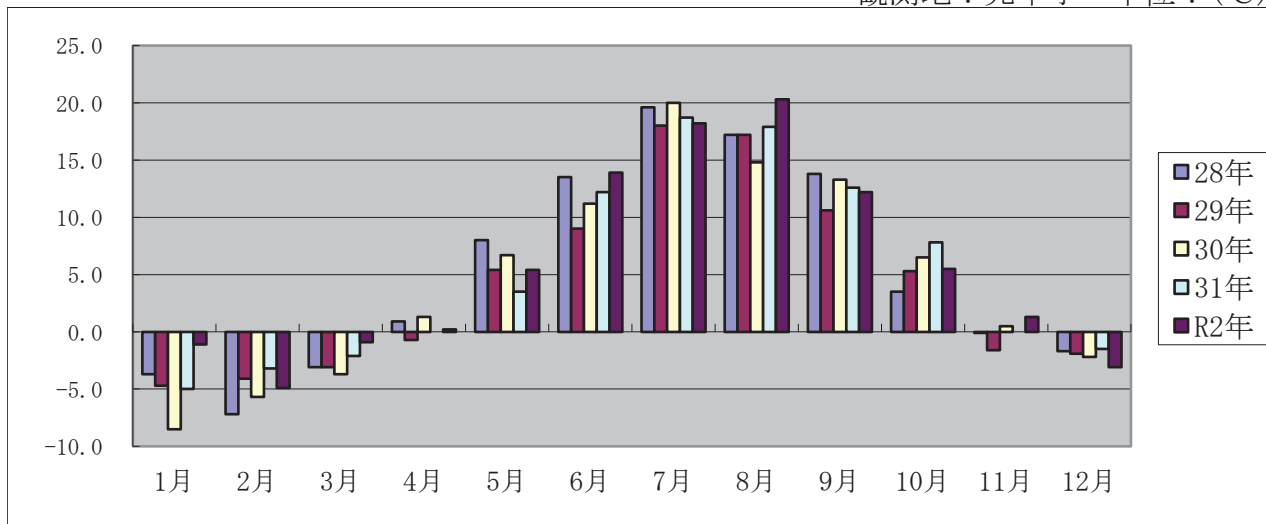
観測地：元中子 単位：(°C)



月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
28年	12.7	12.9	20.0	27.6	29.9	31.7	32.9	34.8	35.0	28.4	19.3	19.2
29年	10.5	12.3	15.2	26.4	31.0	32.3	35.0	35.8	31.0	26.3	20.7	13.7
30年	8.6	9.2	20.5	28.4	29.9	36.1	37.6	36.8	33.7	33.6	21.7	21.5
31年	9.5	11.4	20.4	27.8	32.4	31.3	35.2	37.0	35.7	31.1	24.7	13.5
R2年	16.2	15.6	22.0	24.7	29.6	32.1	30.7	36.9	36.5	26.7	24.3	13.8

☆ 過去5年間1月～12月の最低気温調べ

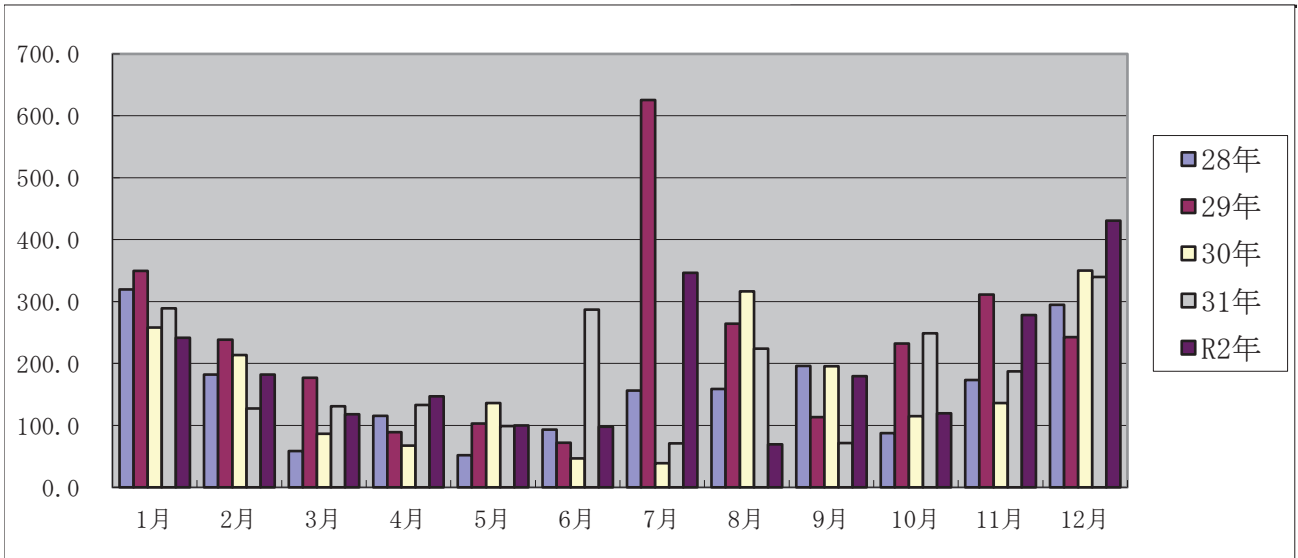
観測地：元中子 単位：(°C)



月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
28年	-3.7	-7.2	-3.1	0.9	8.0	13.5	19.6	17.2	13.8	3.5	-0.1	-1.7
29年	-4.7	-4.1	-3.1	-0.7	5.4	9.0	18.0	17.2	10.6	5.3	-1.6	-1.9
30年	-8.5	-5.7	-3.7	1.3	6.7	11.2	20.0	14.8	13.3	6.5	0.5	-2.2
31年	-5.0	-3.2	-2.1	0.0	3.5	12.2	18.7	17.9	12.6	7.8	0.0	-1.5
R2年	-1.1	-4.9	-0.9	0.2	5.4	13.9	18.2	20.3	12.2	5.5	1.3	-3.1

☆ 過去5年間1月～12月の降雨量調べ

観測地：元中子 単位：(mm)

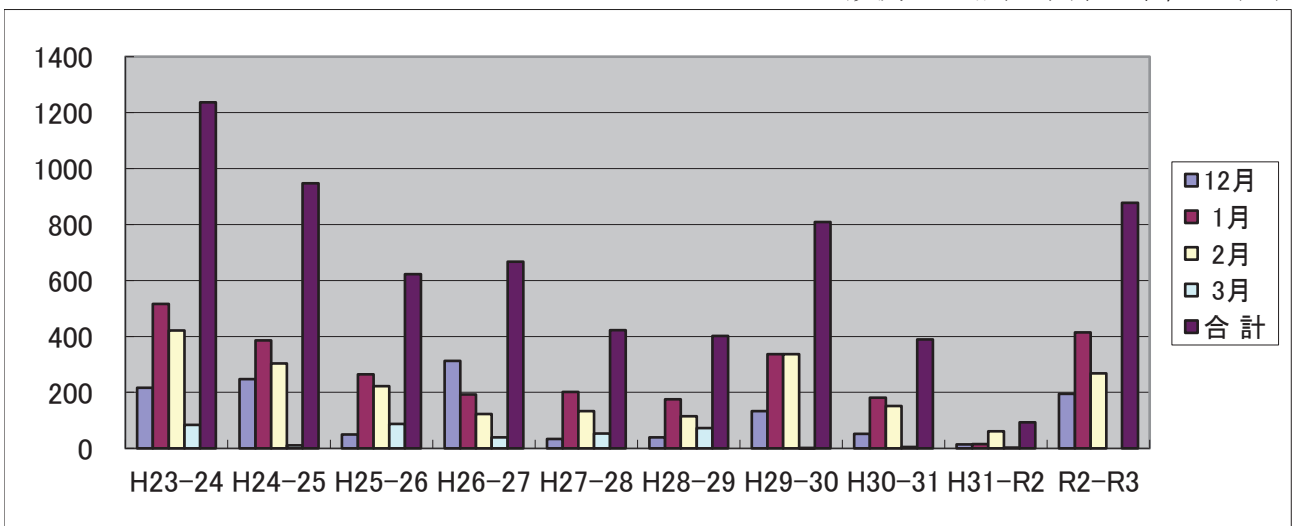


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
28年	319.5	182.0	58.5	115.5	52.0	93.0	156.5	159.0	196.0	87.5	173.5	295.0
29年	349.5	238.5	177.0	89.0	103.0	72.0	625.5	264.5	113.5	232.5	311.5	242.5
30年	258.0	213.5	86.5	67.5	136.0	46.5	39.0	316.5	195.5	115.0	136.0	350.0
31年	289.0	127.5	131.0	133.0	99.0	287.0	71.0	224.0	71.5	249.0	187.5	339.5
R2年	241.5	182.0	118.0	147.0	100.0	98.0	346.5	69.5	179.5	119.5	278.5	430.5

※ 雨量には、雪解け水を含みます。

☆ 過去10年間の降雪量調べ

観測地：消防本部 単位：(cm)



	H23-24	H24-25	H25-26	H26-27	H27-28	H28-29	H29-30	H30-31	H31-R2	R2-R3
12月	216	247	49	313	34	39	133	52	14	195
1月	516	386	265	192	202	175	337	181	15	415
2月	421	304	222	123	133	115	337	151	61	268
3月	84	11	87	39	53	73	2	5	3	
合計	1237	948	623	667	422	402	809	389	93	878



預防關係

1 防火対象物の現況、防火管理者選任状況

☆ 小千谷市

令和3.4.1 現在

防火対象物の別		区 分	防 火 対 象 物 数	防 火 管 理 者 選 任 状 況		消 防 計 画 届 出 数
				必 要 対 象	選 任 届 出 済	
(1)	イ	映 画 館				
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	15	11	11	10
(2)	イ	キャバレー・カフェー				
	ロ	遊 技 場	3	3	3	3
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗				
	ニ	カラオケボックス等	1	1	1	1
(3)	イ	料 理 店	3	3	2	1
	ロ	飲 食 店	39	33	26	21
(4)		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	71	40	33	31
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	12	8	8	8
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅	186	20	16	15
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所	21	4	4	4
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	11	9	8	8
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	26	16	16	16
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校	2	1	1	1
(7)		小 ・ 中 ・ 高 ・ 各 種 学 校	39(16)	16	15	15
(8)		図 書 館 等	3	2	2	2
(9)	ロ	公 衆 浴 場				
(10)		車 両 の 停 車 場	1			
(11)		寺 院	29	24	21	7
(12)	イ	工 場 ・ 作 業 場	261	31	30	29
(13)	イ	自 動 車 車 庫	33			
(14)		倉 庫	185	1	1	1
(15)		前 各 項 に 該 当 し な い 事 業 所	282	44	37	32
(16)	イ	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物	182	73	60	57
	ロ	上記（イ）以外の複合用途防火対象物	138	4	4	4
(17)		重 要 文 化 財	1			
(18)		ア ー ケ ー ド (5 0 m 以 上)				
合 計			1,544	344	299	266

※防火対象物数は棟数。7項（ ）内は施設数。

防火対象物の数		防火対象物数	防火管理者選任状況		消防計画届出数
			必要対象	選任届出済	
(1)	イ	映画館			
	ロ	公会堂・集会場	14	14	14
(2)	イ	キャバレー・カフェー			
	ロ	遊技場			
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗			
	ニ	カラオケボックス等			
(3)	イ	料理店			
	ロ	飲食店	6	5	5
(4)		百貨店・マーケット	6	4	4
(5)	イ	旅館・ホテル	8	2	2
	ロ	寄宿舎・共同住宅	27	2	2
(6)	イ	病院・診療所	1		
	ロ	老人短期入所施設等	2	2	2
	ハ	老人デイサービスセンター等	2	2	2
	ニ	幼稚園・特別支援学校			
(7)		小・中・高・各種学校	2(2)	2	2
(8)		図書館	1	1	1
(9)	ロ	公衆浴場			
(10)		車両の停車場	1		
(11)		寺院	6	5	4
(12)	イ	工場・作業場	36	4	4
(13)	イ	自動車車庫	5		
(14)		倉庫	24		
(15)		前各項に該当しない事業所	51	5	5
(16)	イ	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物	16	8	8
	ロ	上記(イ)以外の複合用途防火対象物	8		
(17)		重要文化財			
(18)		アーケード(50m以上)			
合計			216	56	55

※防火対象物数は棟数。7項()内は施設数。

2 建築同意事務処理状況

(1) 過去5年間の処理状況

区分	年別	H28年	H29年	H30年	H31年	R2年
受付数		57	49	42	60	55
同意数		57	49	42	60	55
不同意数		0	0	0	0	0

(2) 月別処理状況

令和2.1.1～令和2.12.31

区分	年別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
受付数		55	4	2	7	3	5	5	7	3	5	5	7	2
同意数		55	4	2	7	3	5	5	7	3	5	5	7	2
不同意数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 用途地域別 ・ 構造等別

令和2.1.1～令和2.12.31

用途地域別 耐火性及び 構造別	計	第一種低層 住居専用	第一種中高層 住居専用	第一種住居	第二種住居	準住居	近隣商業	商業	準工業	工業	その他及び 指定なし
許可申請等及びその他の建築行為*	4			1				1	1		1
準耐火物	9					1	1		1	1	5
耐火物	5				2			1			2
木造	15			4	1			2	2	2	4
鉄骨造	20		1	4		1			2	1	11
アルミニウム造	2			1							1
合計	55		1	10	3	2	1	4	6	4	24

* 「許可申請等」とは、確認申請以外の建築基準法による申請等とする。

「その他の建築行為」とは、当該欄以下に計上する新築、増築、改築、移転及び用途変更以外の行為とし、修繕又は模様替え等の行為とする。

※1 耐火性を有する場合は、耐火性を優先した計上としている。また、構造別は主たる構造で計上している。

※2 同意1件に対し複数の物件等がある場合は、主たるものを計上している。

(4) 用途別 ・ 工事別

令和2.1.1～令和2.12.31

用途別		工事別							許可申請等 及びその他の 建築行為 *
		計	新 築	増 築	改 築	移 転	用途変更		
防 火 対 象 物	併用住宅	3	1	1				1	
	共同住宅								
	事務所	4		2	1				1
	学 校								
	車 庫	4	4						
	倉 庫	4	2	2					
	工場・作業場	9	3	5					1
	旅館・ホテル								
	病院・診療所								
	福祉施設	2	1	1					
	神社・寺院・教会	1			1				
	集 会 場								
	遊 技 場								
	店 舗	6	1	4				1	
	飲 食 店								
	その他の事業所等	7	4	2				1	
防以 火対 象物 外	専用住宅	7	3	2					2
	そ の 他	8	7	1					
合計		55	26	20	2		3	4	

* 「許可申請等」とは、確認申請以外の建築基準法による申請等とする。

「その他の建築行為」とは、当該欄左記に計上する新築、増築、改築、移転及び用途変更以外の行為とし、修繕又は模様替え等の行為とする。

※1 用途が住居以外のものは、用途別「その他」に計上している。

※2 同意1件に対し複数の物件等がある場合は、主たるものを計上している。

3 中高層建築物の現況

令和3.4.1 現在

防火対象物の別		区分	計	4階		5階		6階	7階	8階	9階	10階
				小千谷市	長川岡口地 市域	小千谷市	長川岡口地 市域	小千谷市	小千谷市	小千谷市	小千谷市	小千谷市
(1)	イ	映画館										
	ロ	公会堂・集会場	1	1								
(2)	イ	キャバレー・カフェー										
	ロ	遊技場										
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗										
	ニ	カラオケボックス等										
(3)	イ	料理店										
	ロ	飲食店	1	1								
(4)		百貨店・マーケット										
(5)	イ	旅館・ホテル	6	2	1	2	1					
	ロ	寄宿舎・共同住宅	39	22	2	12	1	1				1
(6)	イ	病院・診療所	1					1				
	ロ	老人短期入所施設等										
	ハ	老人デイサービスセンター等										
	ニ	幼稚園・特別支援学校										
(7)		小・中・高・各種学校	4	4								
(8)		図書館										
(9)	ロ	公衆浴場										
(10)		車両の停車場										
(11)		寺院										
(12)	イ	工場・作業場	11	7		1		2	1			
(13)	イ	自動車車庫										
(14)		倉庫	1	1								
(15)		前各項に該当しない事業所	7	7								
(16)	イ	特定防火対象物の存する 複合用途防火対象物	11	4	1	4		2				
	ロ	上記(イ)以外の複合用途 防火対象物	2	2								
(17)		重要文化財										
(18)		アーケード(50m以上)										
合計			84	51	4	19	2	6	1			1

4 危険物製造所等の地区別施設数及び現年度指定数量別施設数

令和3.3.31 現在

製造所等別 区分		合計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
年 度 別	令和 元年度	小 千 谷 市	170		19	22	6	42	1	24	3	25			28
		長岡市川口地域	30		3	1		12		2		5			7
		合 計	200		22	23	6	54	1	26	3	30			35
	指 定 数 量 別 内 訳	5倍以下	79		8	4	1	21	1	26	1	1			16
		5倍を越え10倍以下	51		9	5		19			1	4			13
		10倍を越え50倍以下	39		4	9	5	12			1	4			4
		50倍を越え100倍以下	9		1			2				6			
		100倍を越え150倍以下	4			1						3			
		150倍を越え200倍以下	5									5			
		200倍を越え1,000倍以下	7									7			
		1,000倍を越え5,000倍以下	6			4 *1									2
		5,000倍を越え10,000倍以下													
		10,000倍を越えるもの													
	令 和 2 年 度	小 千 谷 市	169		19	22	6	41	1	25	3	25			27
		長岡市川口地域	30		3	1		12		2		5			7
		合 計	199		22	23	6	53	1	27	3	30			34
		5倍以下	78		8	4	1	20	1	27	1	1			15
		5倍を越え10倍以下	51		9	5		19			1	4			13
		10倍を越え50倍以下	39		4	9	5	12			1	4			4
50倍を越え100倍以下		9		1			2				6				
100倍を越え150倍以下		4			1						3				
150倍を越え200倍以下		5									5				
200倍を越え1,000倍以下		7									7				
1,000倍を越え5,000倍以下	6			4 *1									2		
5,000倍を越え10,000倍以下															
10,000倍を越えるもの															

*1 準特定屋外タンクを1基含む。

5 危険物製造所等の年間事務処理状況

令和2.4.1～令和3.3.31

製造所等別 区分		合計	製造所	貯蔵所							取扱所			
				屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所
許	設置	2					1		1					
	変更	9				1					3			5
可	移動タンク貯蔵所の常置場所の変更													
	転出 転入													
完成検査	設置	2				1		1						
	変更	11				2				3			6	
廃止届		4				2		1					1	

6 試験・測定資器材

令和3.4.1 現在

名 称	規 格	数 量
自動火災報知設備検査器具	熱式、煙式	各 1 式
テ ス タ ー	デジタルテスター M300	1
超 音 波 厚 さ 計	TI55. TI-P01	1
ガ ス 検 知 器	北 川 式	1
可 燃 性 ガ ス 検 知 器	F M - I C	1
温 度 計	表面温度計	1
カ メ ラ	火災原因調査用キャノン60D他	2
ポ ー タ ー ス モ ー ク	出力10m ³ /分～31m ³ /分	2
レ ー ザ ー レ ン ジ メ ー タ	H I L T I P D 3 0	1

7 火災概要表

区 分		2年 (A)	31年 (B)	比較 (A-B)
火 災 件 数		15	16	△ 1
種 別	建 物 火 災	8	8	0
	林 野 火 災	0	0	0
	車 両 火 災	1	1	0
	その他の火災	6	7	△ 1
損 害 額 (千 円)		10,362	8,208	2,154
建 物 焼 損 面 積 (m ²)		180	238	△ 58
林 野 焼 損 面 積 (a)		0	0	0
死 傷 者	死 亡	1	0	1
	負 傷	0	4	△ 4
り 災 世 帯 数		6	7	△ 1
り 災 者 数		17	16	1

出火原因 焼損区分	内 訳 (令和2.1.1~令和2.12.31)											
	火のついたゴミ	ガステーブル	火のついた縄	たばこ	配線器具	消し炭薪	煙突	排気管に鳥の巣	風呂釜	雷	不明	合 計
全 焼											1	1
半 焼				1								1
部 分 焼						1	1					2
ぼ や		1			1				1	1		4
林 野												0
車 両								1				1
そ の 他	3		1								2	6
合 計	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	15

☆ 小千谷市

区 分		2年 (A)	31年 (B)	比較 (A-B)
火 災 件 数		15	15	0
種 別	建 物 火 災	8	8	0
	林 野 火 災	0	0	0
	車 両 火 災	1	1	0
	その他の火災	6	6	0
損 害 額 (千 円)		10,362	8,208	2,154
建 物 焼 損 面 積 (m ²)		180	238	△ 58
林 野 焼 損 面 積 (a)		0	0	0
死 傷 者	死 亡	1	0	1
	負 傷	0	4	△ 4
り 災 世 帯 数		6	7	△ 1
り 災 者 数		17	16	1

出火原因 焼損区分	内 訳 (令和2.1.1~令和2.12.31)											
	火のついたゴミ	ガステーブル	火のついた縄	たばこ	配線器具	消し炭薪	煙突	排気管に鳥の巣	風呂釜	雷	不明	合 計
全 焼											1	1
半 焼				1								1
部 分 焼						1	1					2
ぼ や		1			1				1	1		4
林 野												0
車 両								1				1
そ の 他	3		1								2	6
合 計	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	15

☆ 長岡市川口地域

区 分		2年 (A)	31年 (B)	比較 (A-B)
火 災 件 数		0	1	△ 1
種 別	建 物 火 災	0	0	0
	林 野 火 災	0	0	0
	車 両 火 災	0	0	0
	その他の火災	0	1	△ 1
損 害 額 (千 円)		0	0	0
建 物 焼 損 面 積 (m ²)		0	0	0
林 野 焼 損 面 積 (a)		0	0	0
死 傷 者	死 亡	0	0	0
	負 傷	0	0	0
り 災 世 帯 数		0	0	0
り 災 者 数		0	0	0

出火原因 焼損区分	内 訳 (令和2.1.1~令和2.12.31)												合 計
全 焼													0
半 焼													0
部 分 焼													0
ぼ や													0
林 野													0
車 両													0
そ の 他													0
合 計													0

8 過去5年間の火災発生状況

区分	火災件数							焼損面積			損害額(千円)					1件当り建物焼損面積(m ²)	1件当り建物損害額(千円)	
	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	林野	車両その他	建物(m ²)	林野(a)	その他(m ²)	合計	建物	林野	車両	その他			
28年	25	5	2		3		7	8	2,931		23,022	246,738	245,166		1,572		293	24,517
29年	11	2			2	1	1	5	508	75	1,695	3,358	3,188		170		127	797
30年	11	1			1		3	6	417		952	12,753	9,621		3,124	8	209	4,811
31年	16	3	1		4		1	7	238		12,392	8,208	7,926		282		30	991
2年	15	1	1	2	4		1	6	180		9,093	10,362	9,643		719		23	1,205

※少数点以下は四捨五入

9 過去5年間の月別火災発生状況

	28年				29年				30年				31年				2年			
	建物	林野	車両	その他	建物	林野	車両	その他	建物	林野	車両	その他	建物	林野	車両	その他	建物	林野	車両	その他
1月							1													
2月	1										2		1				2			
3月	1											2				1	1			2
4月	1			4	1	1		1				1		1	1					1
5月	2			1				2				1	2			3	2		1	3
6月	2		1	3				2							1					
7月			1		1							2	1							
8月			2		1				1		1	1	1			1				
9月									1								1			
10月	1		1																	
11月																				
12月	2		2		1								2				2			
小計	10		7	8	4	1	1	5	2		3	6	8		1	7	8		1	6
合計	25				11				11				16				15			



敬防關係

1 火災・風水害等件数状況

令和2. 1. 1～令和2. 12. 31

区 分 種 別	消 防 署 (川口出張所を含む)		小 千 谷 市 消 防 団	
	件 数	延 人 員	件 数	延 人 員
火 災	15	234	15	409
救 急 業 務	1,446	5,103		
救 助 活 動	30	382		
風 水 害 等 の 災 害				
演 習 ・ 訓 練	20	187	21	468
広 報 ・ 指 導	243	976	292	2,366
警 防 調 査	74	292		
原 因 調 査	11	54		
特 別 警 戒	39	174	13	255
捜 索				
予 防 査 察	172	558	1	1
誤 報 等				
そ の 他	1,166	2,899		
合 計	3,216	10,859	342	3,499

※ 警戒出動の出動回数・延人員については「その他」に含んでいます。
 (警戒出動～自動火災報知機の誤作動による出動、未確認情報による出動、道路上及び河川等に流出した油の処理等)

2 消防水利

令和3.4.1 現在

水利 管轄区分	公設水利								
	消火栓			防火水槽・貯水槽					
	地上式	地下式	計	100m ³ 以上	60m ³ 以上 100m ³ 未満	40m ³ 以上 60m ³ 未満	20m ³ 以上 40m ³ 未満	20m ³ 未満	計
小千谷市	442	327	769	2	13	220	67	54	356
	307	252	559	2	13	220			235
長岡市 川口地域	96	11	107		2	98	7		107
	75	8	83		2	98			100
計	538	338	876	2	15	318	74	54	463
	382	260	642	2	15	318	0	0	335

※ 上段は行政財産数、下段は消防水利の基準（昭和39年消防庁告示第7号）数。

※ 平成26年4月1日より「消防水利の基準」の改定に基づき水利数変更。

☆ 防火水槽・貯水槽のうち、耐震性を有する貯水槽

水利 管轄区分	耐震性貯水槽				
	100m ³ 以上	60m ³ 以上 100m ³ 未満	40m ³ 以上 60m ³ 未満	20m ³ 以上 40m ³ 未満	計
小千谷市		3	40		43
長岡市 川口地域		1	4		5
計		4	44		48

3 消防資機材装備状況

令和3.4.1 現在

名 称		規 格
消 防 用 ホ ー ス		40mm・50mm・65mm
林野火災 対応資機材	可搬式ポンプ	C-1級、D-1級
	ジェットシューター	手動式 20ℓ
	ラビットシューター	エンジン式
中 継 用 組 立 水 槽		—
金 属 探 知 機		—

4 水防資材備蓄状況

令和3.4.1 現在

倉庫名 品 名	消防本部	東小千谷防 災備蓄倉庫 (元中子)	小千谷市水防倉庫			合 計
			元 町	川 井	五 辺	
布袋類 (枚)	3,000	5,000	21,600	3,200	21,600	54,400
縄 (kg)	20	6	35	10	17.5	88.5
鉄製杭 (本)	25	30	45	50	30	180
杭木類 (本)			30	30	100	160
鉄線 (kg)	25	25	25	25	25	125
T型マット			1			1
スコップ	30	10	12	12	20	84
かけや	4	2	2	7	2	17
ハンマー	3	2	3	1	2	11
鋸 (のこぎり)	1	1	4	3	1	10
鉋 (なた)	1		2	2	1	6
鎌 (かま)	22	5	8	6	6	47
つるはし	1	2	6	6	7	22
鍬 (くわ)			2	3	1	6
番線カッター	2	1	2	2	2	9
しの	2	2	3	2	2	11
ビニールシート	33	17	9	7	7	73
斧 (おの)	1		3	1	1	6
救命胴衣	34	33	30	10	20	127
ロープ		4				4
むしろ			60			60
一輪車	3		3			6
単管パイプ	10					10
土のう作成器	2					2
砂 (m ³)	2	1				3

※水防資材は危機管理課所管

5 消防車両一覧

令和3.4.1 現在

所属	車名	社名	登録番号	ポンプ	排気量	定員	総重量(kg)	年式	級別	登録年月
本部 (消防署)	特殊水槽付消防ポンプ自動車 (小千谷タンク1)	日野	長岡 800 は 1610	長野ポンプ	6,400	6	10,930	2017	A-2	H 29. 1
	消防ポンプ自動車 (小千谷ポンプ1)	日野	長岡 800 す 1654	長野ポンプ	4,000	5	6,475	2015	A-2	H 27. 12
	消防ポンプ自動車 (小千谷ポンプ2)	日野	長岡 800 さ 6680	モリタ	4,000	5	6,105	2007	A-2	H 19. 2
	化学車 (小千谷化学1)	日野	長岡 800 は 877	モリタ	6,400	6	11,370	2009	A-2	H 21. 2
	救助工作車 (小千谷救助1)	日野	長岡 800 は 1016	-	6,400	6	10,880	2010	-	H 22. 12
	はしご付消防ポンプ自動車 (小千谷梯子1)	日野	長岡 800 は 1794	-	8,860	6	18,440	2019	-	H 31. 3
	高規格救急自動車 (小千谷救急1)	トヨタ	長岡 832 ゆ 119	-	2,690	7	3,205	2019	-	R 1. 11
	高規格救急自動車 (小千谷救急2)	トヨタ	長岡 832 ふ 119	-	2,690	7	3,155	2014	-	H 26. 10
	高規格救急自動車 (小千谷救急3)	トヨタ	長岡 831 ふ 119	-	2,690	7	3,215	2008	-	H 20. 11
	多目的車 (小千谷指令1)	トヨタ	長岡 200 さ 2172	-	2,690	14	2,960	2016	-	H 28. 8
	資機材運搬車 (小千谷指令2)	マツダ	長岡 800 さ 7088	-	2,990	3	4,235	2007	-	H 19. 9
	防火指導車 (小千谷指令3)	スズキ	長岡 880 あ 1151	-	650	4	1,230	2016	-	H 28. 8
	防火広報車(指揮車) (小千谷指令5)	トヨタ	長岡 800 す 3612	-	2,690	5	2,345	2019	-	R 1. 9
ボートトレーラー	ミッドウエスト	長岡 800 る 38	-			750	2002	-	H 14. 7	
川口出張所	消防ポンプ自動車 (川口ポンプ1)	日野	長岡 800 さ 9866	長野ポンプ	4,000	5	6615	2012	A-2	H 24. 11
	高規格救急自動車 (川口救急1)	トヨタ	長岡 832 そ 119	-	2,690	7	3,205	2012	-	H 24. 1
	指令広報車 (川口指令1)	トヨタ	長岡 800 す 1451	-	1,490	5	2,130	2015	-	H 27. 7

※ () は無線呼出名称。



救急救助關係

救急関係

1 事故種別出場状況

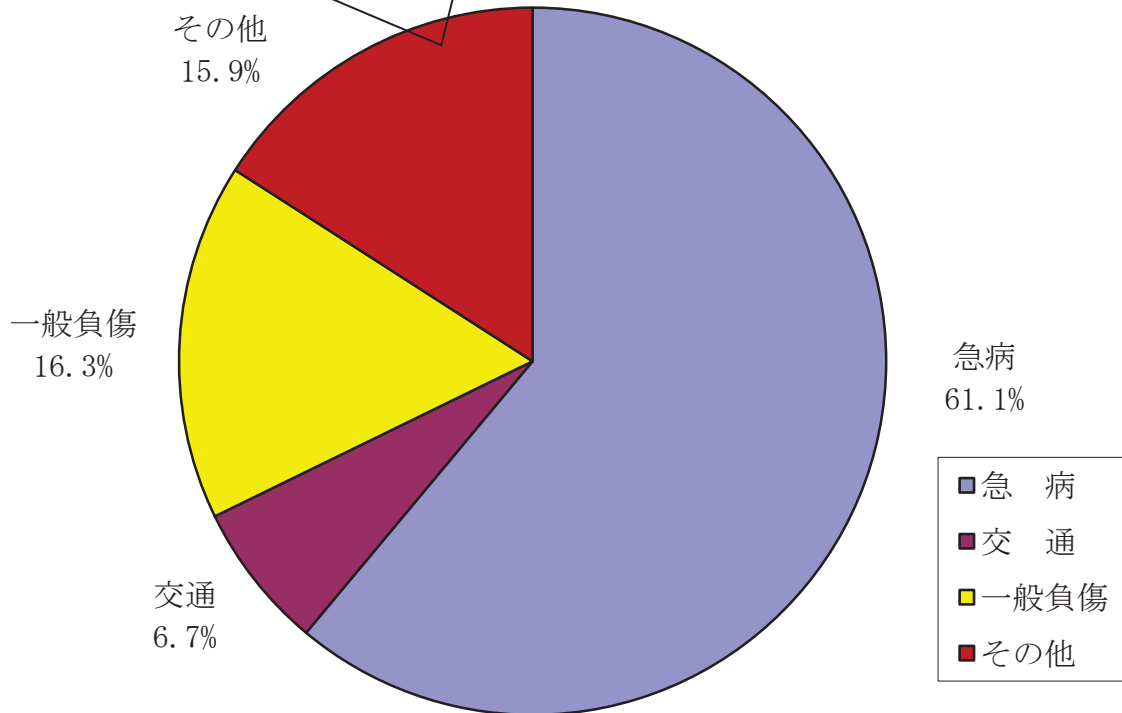
令和2.1.1～令和2.12.31

種別 地区別		合	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
		計	災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の
				災			害	競	負		行		他
				害				技	傷		為		
出 場 件 数	小千谷市	1,260			2	73	24	3	205	6	18	765	164
	長岡市川口地域	179				20	3		30	1	2	116	7
	高速道路	4				1			1			2	
	管外応援	3				3							
	合計	1,446	0	0	2	97	27	3	236	7	20	883	171
不 搬 送 件 数	小千谷市	123			2	8	1		15	1	6	78	12
	長岡市川口地域	21				3			2	1		12	3
	高速道路	0											
	管外応援	3				3							
	合計	147	0	0	2	14	1	0	17	2	6	90	15
搬 送 人 員	小千谷市	1,147				73	23	3	191	6	12	687	152
	長岡市川口地域	160				19	3		28		2	104	4
	高速道路	4				1			1			2	
	管外応援	0											
	合計	1,311	0	0	0	93	26	3	220	6	14	793	156

2 事故種別出場比率

令和2.1.1～令和2.12.31

水難	2件 (0.1%)	労働災害	27件 (1.9%)	運動競技	3件 (0.2%)
加害	7件 (0.5%)	自損行為	20件 (1.4%)	転院搬送	157件 (10.9%)
その他	14件 (1.0%)				



※ 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。
(件)

事故種別	合計	急病	交通	一般負傷	その他
出場件数	1,446	883	97	236	230

3 地区別出場状況

令和2.1.1～令和2.12.31

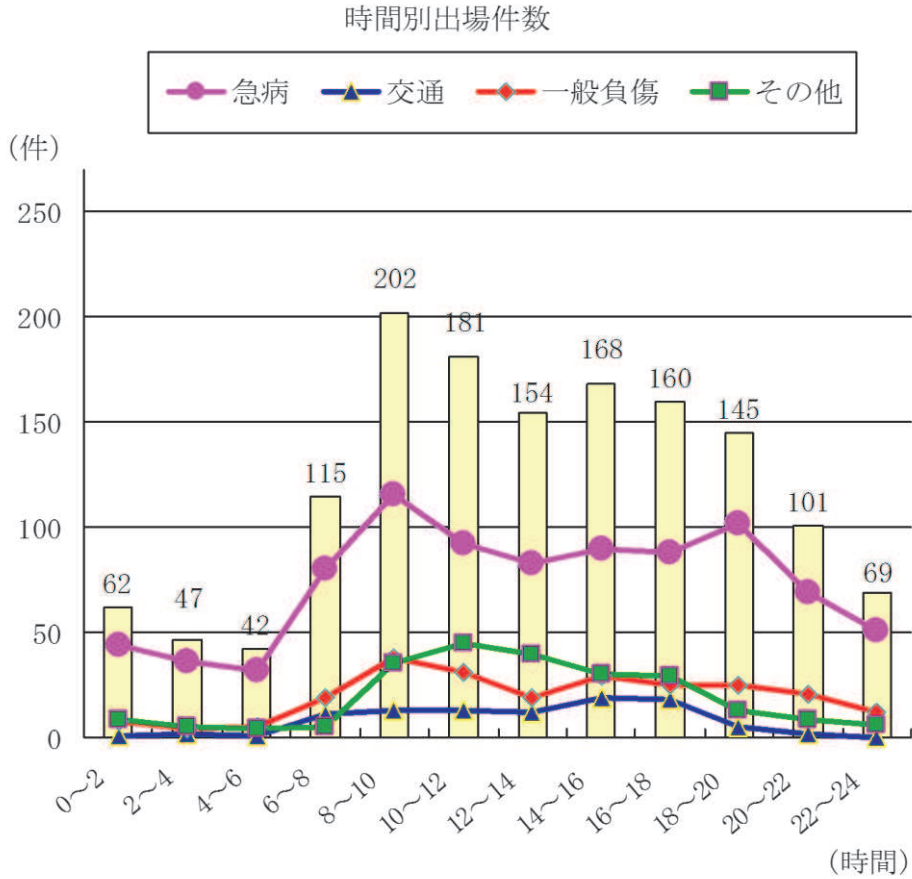
(件)

		合 計	急 病	交 通	一般負傷	そ の 他
小 千 谷 市	城 川	457	213	32	57	155
	東 小 千 谷	189	132	15	31	11
	西 小 千 谷	177	130	3	32	12
	千 田	114	78	2	25	9
	片 貝	119	79	4	22	14
	真 人	47	28	7	7	5
	山 辺	57	36	6	11	4
	岩 沢	26	20	1	3	2
	吉 谷	26	17		6	3
	五 辺 ・ 高 梨	19	14	2	2	1
	川 井	11	7		3	1
	東 山	18	11	1	6	
	合 計	1,260	765	73	205	217
長 岡 市 川 口 地 域	西 川 口	58	38	3	12	5
	東 川 口	34	23	2	5	4
	和 南 津	15	9	2	2	2
	中 山	32	16	9	6	1
	田 麦 山	15	12		3	
	牛 ケ 島	6	3	1	1	1
	木 沢	1	1			
	武 道 窪	3	3			
	相 川	7	5	1	1	
	貝 ノ 沢	7	5	2		
	荒 谷	1	1			
	峠					
合 計	179	116	20	30	13	
高 速 道 路	関越自動車道上り	4	2	1	1	
	関越自動車道下り	2		2		
	合 計	6	2	3	1	0
管 外 応 援	長 岡 市					
	十 日 町 市	1		1		
	魚 沼 市					
	合 計	1	0	1	0	0
合 計		1,446	883	97	236	230

4 時間別出場状況

出場件数を時間別で見ると、午前8時から午前10時の202件が最多でした。

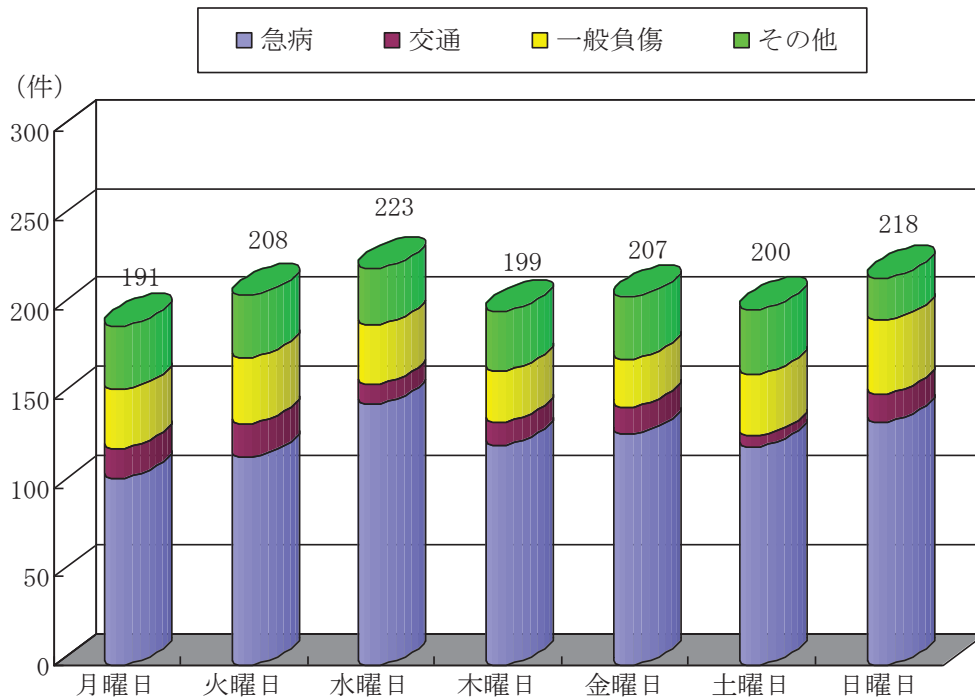
令和2.1.1～令和2.12.31



時間 種別	(件)													
	計	0 2	2 4	4 6	6 8	8 10	10 12	12 14	14 16	16 18	18 20	20 22	22 24	
合計	1,446	62	47	42	115	202	181	154	168	160	145	101	69	
急病	883	44	36	32	80	116	92	83	90	88	102	69	51	
交通	97	1	2	1	11	13	13	12	19	18	5	2		
一般負傷	236	8	4	5	19	38	31	19	29	25	25	21	12	
その他	230	9	5	4	5	35	45	40	30	29	13	9	6	

5 曜日別出場状況

令和2.1.1～令和2.12.31



(件)

曜日 種別	計	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
合計	1,446	191	208	223	199	207	200	218
急病	883	105	117	147	124	130	123	137
交通	97	17	19	11	13	15	6	16
一般負傷	236	33	37	34	29	27	35	41
その他	230	36	35	31	33	35	36	24

6 月別出場状況

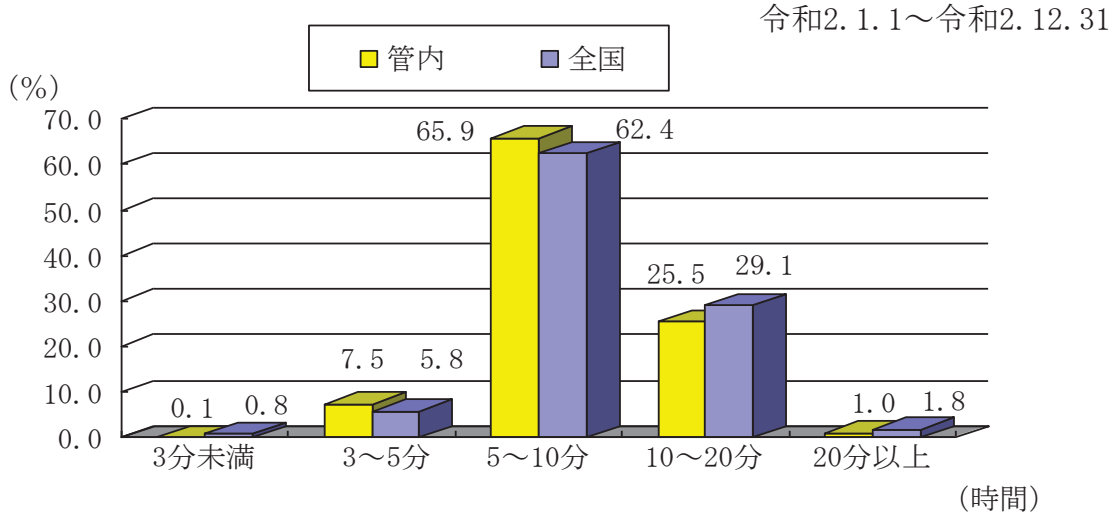
令和2.1.1～令和2.12.31

事故種別	合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
												転院搬送	その他
1月	救急出場件数	125			12	1		12		2	85	12	1
	不搬送件数	7			1					1	4		1
	搬送人員	118			11	1		12		1	81	12	
2月	救急出場件数	103			4			17	1	4	67	9	1
	不搬送件数	17			2					1	13		1
	搬送人員	88			2			18	2	3	54	9	
3月	救急出場件数	99			4	1		18	1	1	61	13	
	不搬送件数	9			1			2			6		
	搬送人員	92			5	1		16	1	1	55	13	
4月	救急出場件数	122			8	1		19	1		78	15	
	不搬送件数	12						3			8	1	
	搬送人員	111			9	1		16	1		70	14	
5月	救急出場件数	115			9	1		23	1	1	63	14	3
	不搬送件数	10			2			2	1		2		3
	搬送人員	105			7	1		21		1	61	14	
6月	救急出場件数	90		1	7	1		17		1	53	10	
	不搬送件数	8		1				1			6		
	搬送人員	82			7	1		16		1	47	10	
7月	救急出場件数	108			5	3		14		1	73	8	4
	不搬送件数	9									5		4
	搬送人員	100			6	3		14		1	68	8	
8月	救急出場件数	160		1	12	3		31	2	2	88	19	2
	不搬送件数	18		1	2			2	1	1	9		2
	搬送人員	143			11	3		29	1	1	79	19	
9月	救急出場件数	126			14	4		19		1	75	12	1
	不搬送件数	10			3						6		1
	搬送人員	117			12	4		19		1	69	12	
10月	救急出場件数	140			8	5	2	25			79	21	
	不搬送件数	14						2			12		
	搬送人員	127			9	5	2	23			67	21	
11月	救急出場件数	111			5	5	1	17		4	71	6	2
	不搬送件数	10						1		2	5		2
	搬送人員	101			5	5	1	16		2	66	6	
12月	救急出場件数	147			9	2		24	1	3	90	18	
	不搬送件数	23			3	1		4		1	14		
	搬送人員	127			9	1		20	1	2	76	18	
合計	救急出場件数	1,446		2	97	27	3	236	7	20	883	157	14
	不搬送件数	147		2	14	1		17	2	6	90	1	14
	搬送人員	1,311			93	26	3	220	6	14	793	156	

7 現場到着所要時間別出場件数の状況

119番通報を受けてから現場に到着するまでの所要時間は、平均で約8.1分でした。

* 全国平均（令和元年）は約8.7分です。「令和2年版 救急救助の現況」から引用
令和2年12月25日総務省消防庁公表



	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上
管内 (%)	0.1	7.5	65.9	25.5	1.0
全国 (%)	0.8	5.8	62.4	29.1	1.8

※ 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。

(件)

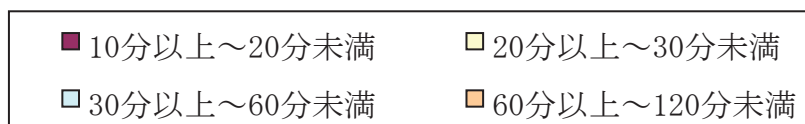
種別	時間	所要時間					合計	平均 (分)	最高 (分)
		3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上			
件数	急病	1	68	567	240	7	883	8.2	33
	交通		8	55	31	3	97	8.8	20
	一般負傷		13	162	59	2	236	8.2	33
	その他	1	19	168	39	3	230	7.2	53
	合計	2	108	952	369	15	1,446		

8 事故種別搬送人員収容所要時間状況

119番通報を受けてから傷病者を医療機関に収容するまでに要した時間は平均で約44.1分でした。

* 全国平均（令和元年）は約39.5分です。「令和2年版 救急救助の現況」から引用
令和2年12月25日総務省消防庁公表

令和2.1.1～令和2.12.31



(人)

種別	時間	所要時間						合計	平均(分)	最高(分)
		10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分 以上			
搬送人員	急病		2	111	594	85	1	793	43.2	133
	交通		1	14	53	25		93	47.5	94
	一般負傷			30	164	26		220	44.0	93
	その他		2	15	166	22		205	46.1	110
	合計		0	5	170	977	158	1,311		

9 年齢別・程度別・事故種別搬送人員数

年齢別で見ると高齢者が最も多く約73%を占めており、程度別で見ると軽症が最も多く約42%を占めています。

令和2.1.1～令和2.12.31
(人)

年齢区分	事故種別 傷病程度	合計	事故種別											
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
新生児	死亡	0												
	重症	2												2
	中等症	0												
	軽症	0												
	その他	0												
	計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
乳幼児	死亡	0												
	重症	0												
	中等症	3										1	2	
	軽症	10							7			3		
	その他	0												
	計	13	0	0	0	0	0	0	7	0	0	4	2	
少年	死亡	0												
	重症	3				2								1
	中等症	4				1		1	1					1
	軽症	24				4		1	10	1	1	7		
	その他	0												
	計	31	0	0	0	7	0	2	11	1	1	7	2	
成人	死亡	7				1					3	3		
	重症	52				4	3		5		1	25	14	
	中等症	88				8	5		12	1	1	43	18	
	軽症	159				31	11		17	3	2	93	2	
	その他	0												
	計	306	0	0	0	44	19	0	34	4	7	164	34	
高齢者	死亡	48				2	1		4		2	39		
	重症	182				2	1		37		3	108	31	
	中等症	372				5	2	1	59			233	72	
	軽症	357				33	3		68	1	1	238	13	
	その他	0												
	計	959	0	0	0	42	7	1	168	1	6	618	116	
合計	死亡	55				3	1		4		5	42		
	重症	239				8	4		42		4	133	48	
	中等症	467				14	7	2	72	1	1	277	93	
	軽症	550				68	14	1	102	5	4	341	15	
	その他	0												
	計	1,311	0	0	0	93	26	3	220	6	14	793	156	

※年齢区分

新生児：生後28日未満の者

少年：満7歳以上満18歳未満の者

高齢者：満65歳以上の者

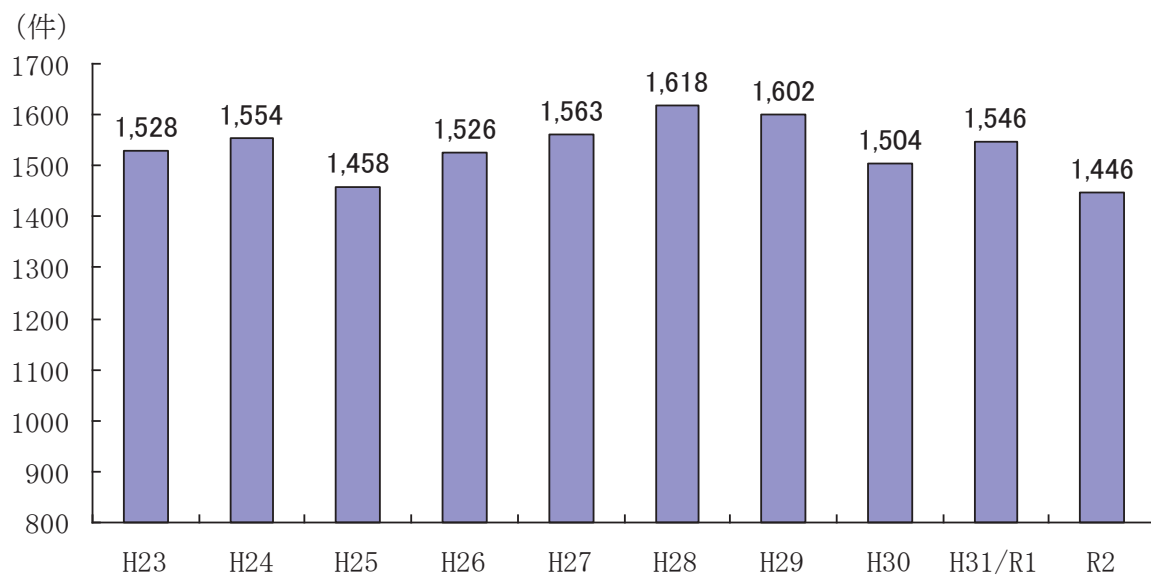
乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者

成人：満18歳以上満65歳未満の者

10 過去5年間の事故種別出場状況

年		事故種別	合計	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
				災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の
				害	害	難	通	災	競	負	害	行	病	他
28年	出場件数	1,618	3		2	127	23	10	254	3	24	924	248	
	不搬送	126	2			15	1		18	1	11	74	4	
	搬送人員	1,504	1		2	122	22	11	236	2	13	851	244	
29年	出場件数	1,602	2	1	2	101	23	9	267	1	11	998	187	
	不搬送	131		1	2	20		1	15		5	84	3	
	搬送人員	1,490	2			97	23	8	254	1	6	914	185	
30年	出場件数	1,504				118	19	13	257	6	20	886	185	
	不搬送	121				10	2	1	14	2	8	77	7	
	搬送人員	1,408				133	17	12	243	4	12	809	178	
31年 / R1年	出場件数	1,546	6		2	85	24	13	268	1	12	977	158	
	不搬送	110	3		1	14	2		9		10	67	4	
	搬送人員	1,451	5		1	82	22	13	261	1	2	910	154	
R2年	出場件数	1,446			2	97	27	3	236	7	20	883	171	
	不搬送	147			2	14	1		17	2	6	90	15	
	搬送人員	1,311				93	26	3	220	6	14	793	156	

1 1 過去10年間の出場件数の推移



1 2 搬送人員別医療機関問合せ回数

(年)

問合せ回数	1回	2回	3回	4回
搬送人員	940	150	46	19

※1 平均問合せ回数は1.26回で、最多問合せ回数は4回でした。

※2 転院搬送156人を除く。

1 3 転送回数別搬送人員・転送理由

回数	合計	0回	1回	2回以上
搬送人員	1,311	1,309	1 (専門外による)	なし

※1 転送とは、最初の医療機関に収容できず、他の医療機関に収容したものの。

※2 転送回数「0回」とは、最初の医療機関に収容したものの。

1 4 熱中症件数

搬送人員1,311人のうち熱中症(疑い含む)で搬送した人員は24人でした。

	H28	H29	H30	H31/R1	R2
搬送人員	22	25	29	41	24

1.5 事故種別収容医療機関状況

搬送人員数1,311人のうち、小千谷市の医療機関に収容した人員は740人で搬送人員数の56.4%（前年59.6%）でした。

令和2.1.1～令和2.12.31

(人)

区域	医療機関	合計	急病	交通	一般負傷	その他
小千谷市	告示 厚生連小千谷総合病院	721	488	49	144	40
	山本医院	8	3		4	1
	根元整形外科医院	8		4	2	2
	小林整形外科医院	1				1
	山下メンタルクリニック	1	1			
	大矢医院	1			1	
長岡市	告示 長岡赤十字病院	235	121	19	36	59
	告示 長岡中央総合病院	170	83	14	17	56
	告示 立川総合病院	133	85	3	15	30
	告示 長岡西病院	1				1
	田宮病院	1				1
	吉田病院	1	1			
	悠遊健康村病院	1			1	
その他	告示 新潟大学医歯学総合病院	2	1			1
	告示 県立十日町病院	9	3	3		3
	告示 魚沼基幹病院	11	4	1		6
	告示 魚沼市立小出病院	1	1			
	告示 亀田第一病院	2				2
	告示 国立病院機構 西新潟中央病院	2	1			1
	告示 県立新発田病院	1	1			
	告示 柏崎総合医療センター	1				1
合計		1,311	793	93	220	205

※1 告示は救急告示病院を示す。

1.6 ドクターヘリ要請状況

令和2年のドクターヘリ要請件数は118件でした。その内、実際にドクターヘリが出場し、現場活動したのは76件でした。事故種別では、「急病」54件、「一般負傷」11件、「労働災害」4件、「交通」5件、「転院搬送」1件、「自損行為」1件となっています。

要請後キャンセル理由は、天候不順、他事案出動中、観察の結果不要でした。

1 7 署所別出場状況

令和2.1.1～令和2.12.31

	合 計	小千谷市消防署	川口出張所
出 場 件 数	1,446件	1,185件	261件
不 搬 送 件 数	147件	122件	25件
搬 送 人 員 数	1,311件	1,073件	238件

1 8 覚知別出場状況

令和2.1.1～令和2.12.31
(件)

覚 知 別	1 1 9	携帯119	普通電話	駆け込み	その他
件 数	834	366	139	3	104

1 9 搬送傷病者居住地状況

令和2.1.1～令和2.12.31
(人)

全 搬 送 者 数 1,311				
管 内 居 住 者 1,151		管 外 居 住 者 160		その他
小 千 谷 市	長 岡 市 川 口 地 域	県 内	県 外	
1,008	143	135	25	0

※「その他」とは、外国人旅行者（外国人のうち日本に住所を有していない外国人）又は住所が判明していないもの等をいう。

2 0 発生場所別搬送人員数

令和2.1.1～令和2.12.31
(人)

場 所 種 別	計	住 宅	公衆出入場所	仕 事 場	道 路	そ の 他
急 病	793	615	138	19	15	6
交 通	93	1	1		90	1
一般負傷	220	150	37	2	20	11
そ の 他	205	19	165	14	4	3
合 計	1,311	785	341	35	129	21

※「発生場所」とは、事故等の発生した場所又は傷病者の居た場所をいう。
「住宅」…一般住宅及び高層住宅等で住居として使用している場所
「公衆出入場所」…多数の人が集まる場所
「仕事場」…工場・作業所・各種事業所等の仕事をしている場所
「道路」…一般道路・高速道路・交差点・歩道及び歩道橋等
「その他」…公園・広場・空地（発生場所が不明なものを含む。）

2 1 応急処置等実施状況

令和2.1.1～令和2.12.31

	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
止血	42				7	5		23		2	5	
固定	90				28	6		48		1	3	4
人工呼吸	5										5	
心マッサージ	0											
心肺蘇生	56				3	1		4		5	43	
心肺蘇生（自動）	44				1	1		3		5	34	
酸素吸入	311				12	2		27		6	233	31
気道確保	67				3	1		4		6	52	1
気道確保 * 1	1										1	
気道確保 * 2	2							2				
気道確保 * 3	28				1	1		1		1	24	
保温	106				10	4	1	17			65	9
被覆	91				18	12		53	2	4	1	1
在宅療法維持	6							1			5	
除細動	3										3	
静脈路確保	39				3			2		4	30	
薬剤投与	9							1			8	
血糖測定	32				1	1		1			29	
ブドウ糖投与	3										3	
血圧測定	1,230				91	25	3	211	6	9	737	148
聴診器による呼吸音等の聴取	523				71	9	1	65	1	2	354	20
血中酸素飽和度の測定	1,243				91	25	3	215	6	9	743	151
心電図	1,065				67	15	1	142	3	8	706	123
その他の応急処置	1,277				93	25	3	216	6	14	772	148

※ 気道確保のうち* 1は経鼻エアウェイ使用、* 2は喉頭鏡、鉗子等による異物除去、* 3はラリ
ンゲアル マスク等による気道確保。

2 2 救急資器材

名	称
血 圧 計	ネ ッ ク カ ラ ー
血中酸素飽和度測定器	陰 圧 ギ ブ ス
体 温 計	シ ー ネ
ベッドサイドモニタ	終末呼気ガスモニター
聴 診 器	頭 部 固 定 マ ク ラ
スクープストレッチャー	経 口 エ ア ウ ェ イ
布 担 架	経 鼻 エ ア ウ ェ イ
バックボード一式	ラリングアルチューブ
酸 素 ポ ン ベ	除 細 動 器
バッグバルブマスク	自 動 式 人 工 呼 吸 器
吸 引 器	人 工 心 肺 蘇 生 シ ス テ ム
喉 頭 鏡	血 糖 測 定 器
マギール鉗子	車 両 用 オ ゾ ン 殺 菌 器
ガーグルベースン	器 具 用 E O G 滅 菌 器
止血帯（ターニケット）	骨盤固定具（T-POD）

2 3 訓練用資器材

名	称
レ サ シ ア ン	気道管理トレーナー
C P R マ ネ キ ン	静脈採血注射モデル I 型
A E D ト レ ー ナ ー	エピペンスターターキット
蘇生訓練用生体シミュレーター	

救助関係

2 4 事故種別、発生場所別救助出動状況

令和2.1.1～令和2.12.31
(件)

発生場所		事故種別	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害事 故	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他 の事故	計
屋内	住居		1									1
	その他											0
道路	高速道路											0
	その他			18								18
水面					4						1	5
山岳											1	1
その他屋外				1							4	5
計			1	19	4	0	0	0	0	0	6	30

2 5 事故種別、発生場所別救助活動状況

令和2.1.1～令和2.12.31
(件)

発生場所		事故種別	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害事 故	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他 の事故	計
屋内	住居		1									1
	その他											0
道路	高速道路											0
	その他			8								8
水面					4						1	5
山岳											1	1
その他屋外				1							3	4
計			1	9	4	0	0	0	0	0	5	19

2 6 事故種別、発生場所別救助人員状況

令和2.1.1～令和2.12.31
(人)

発生場所		事故種別	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害事 故	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他 の事故	計
屋内	住居		1									1
	その他											0
道路	高速道路											0
	その他			10								10
水面					5						1	6
山岳											1	1
その他屋外				1							3	4
計			1	11	5	0	0	0	0	0	5	22

27 救助器具

省令別表1

分類	品名	名
一般救助用器具	かぎ付きはしご	三連はしご
	ワイヤはしご	空気式救助マット
	救命索発射銃	サバイバースリング・救助用縛帯
	平担架	ロープ
	カラビナ	滑車
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	油圧スプレッダー
	可搬ウィンチ	ワイヤーロープ
	マンホール救助器具	
切断用器具	エンジンカッター	ガス溶断器
	チェーンソー	鉄線カッター
破壊用器具	万能斧	ハンマー
	携帯用コンクリート破壊器具	
検知・測定用器具	可燃性ガス測定器	有毒ガス測定器
	酸素濃度測定器	放射線測定器
呼吸保護用器具	空気呼吸器	空気補充用ボンベ
隊員保護用器具	革手袋	耐電手袋
	安全帯	防塵メガネ
	携帯警報器	防毒マスク
	陽圧式化学防護服	耐熱服
	放射線防護服	
水難救助用器具	流水救助器具一式	救命胴衣
	水中投光器	救命浮環
	救命ボート	船外機
山岳救助用器具	登山器具一式	バスケット担架
その他の救助用器具	投光器一式	携帯投光器
	携帯拡声器	携帯無線機
	応急処置用セット	車両移動器具
	その他の携帯救助工具	

省令別表2

分類	品名	名
重量物排除用器具	マット型空気ジャッキ一式	大型油圧スプレッダー
	チェーンブロック	
切断用器具	空気鋸	大型油圧切断機
	空気切断機	
破壊用器具	削岩機	ハンマドリル
呼吸保護用器具	防塵マスク	送排風機
隊員保護用器具	耐電衣	耐電ズボン
	耐電長靴	特殊ヘルメット
その他の救助用器具	緩降機	ロープ登降機
	発電機	救助用降下機

省令別表3

分類	品名	名
高度救助用器具	熱画像直視装置	

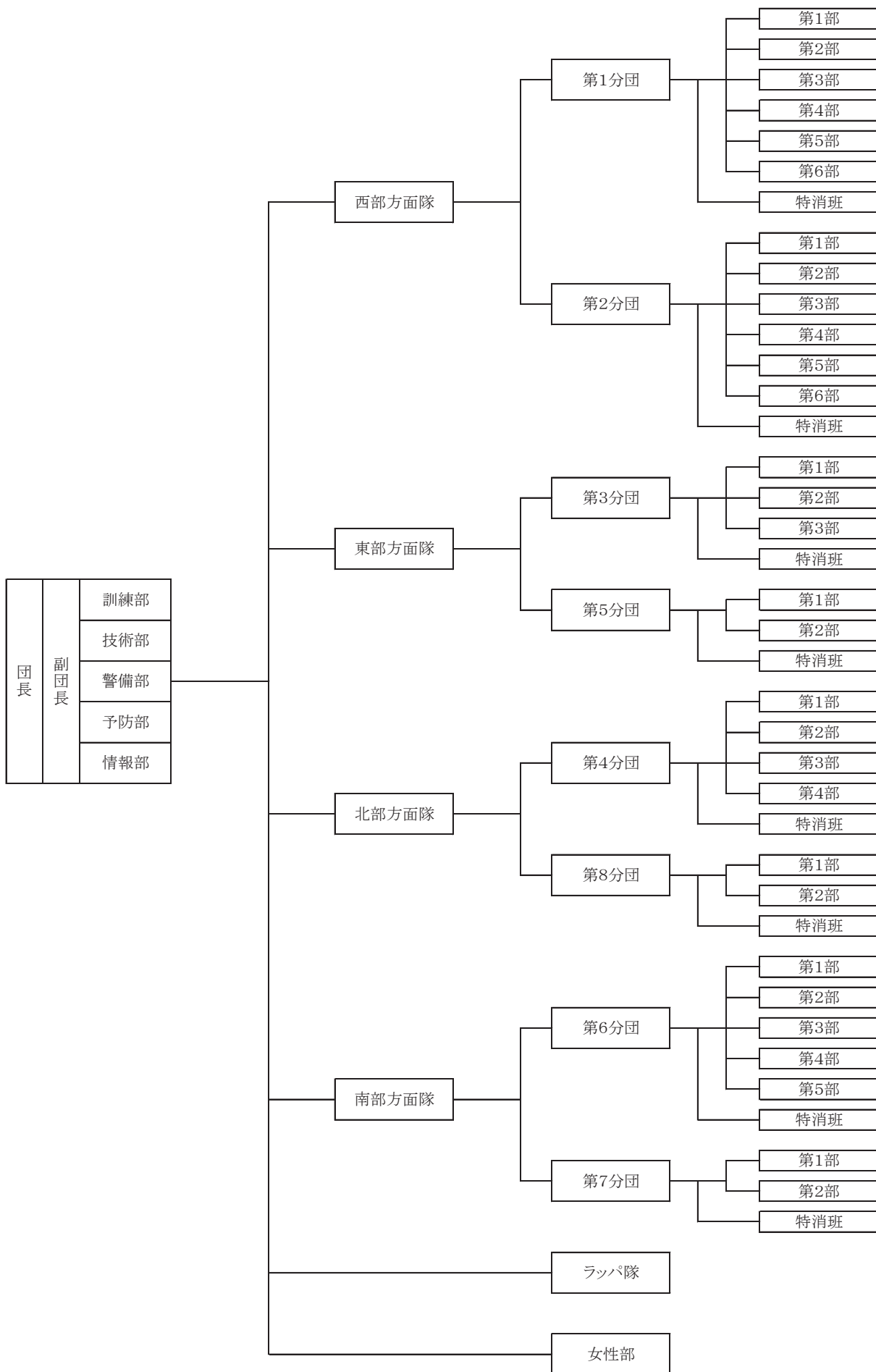


消防團關係

1 消防団組織図

☆ 小千谷市消防団

令和3.4.1 現在



2 歴代消防団長

令和3.4.1 現在

区分	氏名	在任期間	備考	
小千谷市	初	長井 与兵衛	S 14. 4. 1 ~ S 15. 8. 8	小千谷町警防団長
	2	五十嵐 原 治	S 15. 11. 20 ~ S 17. 12. 25	〃
	3	長谷川 長 松	S 17. 12. 26 ~ S 20. 9. 15	〃
	4	中島 福 治	S 21. 5. 16 ~ S 22. 8. 24	
	5	濁川 勇 蔵	S 22. 8. 25 ~ S 30. 5. 13	
	6	山谷 久 六	S 30. 5. 23 ~ S 36. 7. 7	
	7	星野 利 祐	S 36. 7. 8 ~ S 47. 4. 30	
	8	風間 三太郎	S 47. 5. 1 ~ S 54. 4. 1	
	9	吉岡 昭 和	S 54. 4. 2 ~ S 62. 4. 1	
	10	石田 英一郎	S 62. 4. 2 ~ H 62. 9. 3	
	11	岡村 寅 雄	S 62. 10. 1 ~ H 5. 3. 31	
	12	山岸 俊 夫	H 5. 4. 1 ~ H 9. 3. 31	
	13	岩 渕 賢 次	H 9. 4. 1 ~ H 15. 3. 31	
	14	大平 和 芳	H 15. 4. 1 ~ H 19. 3. 31	
	15	金子 正 男	H 19. 4. 1 ~ H 23. 3. 31	
	16	本 田 剛	H 23. 4. 1 ~ H 27. 3. 31	
	17	富井 正 志	H 27. 4. 1 ~ 現在に至る	

3 消防団の編成

令和3.4.1 現在

市	区分	団 数	方面隊数	分 団 数	部 数
小千谷市		1	4	8	30

4 消防団員の数

令和3.4.1 現在

市	区 分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
小千谷市	定 員	1	3	21	22	57	190	456	750
	現 員	1	3	17	22	49	163	360	615
	うち女性			1	1	1	3	6	12

5 消防団員の階級別報酬

令和3.4.1 現在
(単位：円)

市	区 分	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
小千谷市		97,000	67,500	48,500	36,000	31,000	24,000	21,500

6 消防団員の費用弁償

令和3.4.1 現在
(単位：円)

市	区 分	災 害 又 は 警 戒 出 動			演習訓練等
小千谷市	1 回 当 り の 出 動 手 当	4時間以内	4時間を超え 6時間迄	6時間を超え 8時間迄	2,000
		2,000	2,500	3,000	

7 消防車両・小型動力ポンプ配置一覧

令和3.4.1 現在

所 分団	属 部	配 置 先	車 両 種 別	車両登録 年 月	ポ ン プ メーカ	ポンプ 級 別	ポ ン プ 配 置 年 月
	2	船岡	消防ポンプ自動車	H12. 7	モリタ	A-2	H12. 7
	3	山本	積載車	H27. 10	シバウラ	B-3	H27. 11
	4	上片貝	軽積載車 I 型 ※1参照	H20. 11	トーハツ	B-3	H20. 11
	5	打越	積載車	H25. 11	トーハツ	B-3	H25. 11
		四ツ子(高畑)	軽積載車 I 型 ※1参照	H20. 11	トーハツ	B-3	H20. 11
	6	二俣	積載車	H11. 11	トーハツ	B-3	H11. 12
2	1	土川	消防ポンプ自動車	H29. 11	日本機械工業	A-2	H29. 11
	2	時水	積載車	H26. 9	トーハツ	B-3	H26. 10
	3	千谷川	積載車	H13. 12	トーハツ	B-3	H13. 12
	4	平沢	特装車	H10. 12	トーハツ	B-3	H10. 12
	5	桜町	積載車	H28. 9	トーハツ	B-3	H28. 10
	6	山谷	軽積載車 I 型 ※1参照	H18. 9	ラビット	B-3	H18. 9
3	1	東栄	消防ポンプ自動車	H30. 11	長野ポンプ	A-2	H30. 11
			軽積載車 II 型 ※1参照	H21. 10	シバウラ	B-3	H21. 10
	2	穂生	積載車	H30. 11	トーハツ	B-3	H30. 11
	3	木津	積載車	H23. 10	シバウラ	B-3	H23. 11
4	1	千谷	積載車	H21. 10	トーハツ	B-3	H18. 9
	2	小栗田	特装車	H 9. 12	トーハツ	B-3	H 9. 12
	3	三仏生	積載車	H29. 11	シバウラ	B-3	H29. 11
	4	五辺	消防ポンプ自動車	R 3. 2	日本機械工業	A-2	R 3. 2
5	1	浦柄	積載車	H27. 10	シバウラ	B-3	H27. 11
	2	岩間木	軽積載車 ※2参照	H26. 2	ラビット	B-2	H26. 3
6	1	千三	積載車	R 1. 11	シバウラ	B-3	R 1. 11
			軽積載車 I 型 ※1参照	H16. 11	トーハツ	B-3	H 4. 12
	2	芋坂	特装車	H 9. 12	トーハツ	B-3	H 9. 12
	3	塩殿	積載車	H12. 4	トーハツ	B-3	H12. 4
	4	池ヶ原	特装車	H12. 4	トーハツ	B-3	H12. 4
5	若栃	軽積載車 I 型 ※1参照	H16. 11	トーハツ	B-3	H 6. 12	
7	1	川井新田	積載車	H25. 11	シバウラ	B-3	H25. 12
		内ヶ巻	軽積載車 I 型 ※1参照	H19. 9	シバウラ	B-3	H19. 10
		冬井(戸屋・冬井・大崩)	軽積載車 I 型 ※1参照	H15. 3	トーハツ	B-3	H 8. 2
	2	桂	積載車	R 3. 3	トーハツ	B-3	R 3. 3
		市ノ口	軽積載車 I 型 ※1参照	H22. 11	トーハツ	B-3	H22. 11
8	1	屋敷(一之町)	積載車	H24. 10	トーハツ	B-3	H24. 11
		屋敷(二之町)	消防ポンプ自動車	R 2. 2	モリタ	A-2	R 2. 2
		鴻巣	軽積載車 I 型 ※1参照	H16. 2	トーハツ	B-3	H 8. 12
	2	屋敷(三之町)	軽積載車 II 型 ※1参照	H23. 10	シバウラ	B-3	H23. 11
		池津	軽積載車 I 型 ※1参照	H16. 2	トーハツ	B-3	H 2. 10
団本部	消防本部	司令車		H18. 2	—	—	—
		指揮広報車		H26. 10	—	—	—

※1 I型はバンタイプ、II型は軽トラックタイプの積載車を示す。

※2 総務省消防庁無償貸与車両を示す。

8 消防団無線設備

デジタル無線陸上移動局

令和3.4.1 現在

呼出名称	活動波1	活動波2	主運用波	統制波			配置場所	出力(W)	製造年
				1	2	3			
おぢやしょうぼうだんしき 1	○	○	○	○	○	○	現場指揮本部	10	H25
おぢやしょうぼうだん 1	○	○					団本部司令車	10	H25
おぢやしょうぼうだん 11	○	○					1-1(上ノ山)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 12	○	○					1-2(船岡P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 13	○	○					1-3(山本)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 14	○	○					1-4(上片貝)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 15	○	○					1-5(打越)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 16	○	○					1-5(高畑)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 17	○	○					1-6(二俣)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 21	○	○					2-1(土川P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 22	○	○					2-2(時水)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 23	○	○					2-3(千谷川)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 24	○	○					2-4(平沢)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 25	○	○					2-5(桜町P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 26	○	○					2-6(山谷)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 31	○	○					3-1(東栄P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 32	○	○					3-1(東栄)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 33	○	○					3-2(蕨生)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 34	○	○					3-3(木津)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 41	○	○					4-1(千谷)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 42	○	○					4-2(小栗田)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 43	○	○					4-3(三仏生)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 44	○	○					4-4(五辺P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 51	○	○					5-1(浦柄)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 52	○	○					5-2(岩間木)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 61	○	○					6-1(干三)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 62	○	○					6-2(本村)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 63	○	○					6-3(芋坂)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 64	○	○					6-4(塩殿)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 65	○	○					6-5(池ヶ原)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 67	○	○					6-6(若栃)	10	H25

呼出名称	活動波1	活動波2	主運用波	統制波			配置場所	出力(W)	製造年
				1	2	3			
おちやしょうぼうだん 71	○	○					7-1(川井)	10	H25
おちやしょうぼうだん 72	○	○					7-1(内ヶ巻)	10	H25
おちやしょうぼうだん 73	○	○					7-1(冬井)	10	H25
おちやしょうぼうだん 74	○	○					7-2(桂)	10	H25
おちやしょうぼうだん 75	○	○					7-2(市ノ口)	10	H25
おちやしょうぼうだん 81	○	○					8-1(片貝P)	10	H25
おちやしょうぼうだん 82	○	○					8-1(片貝)	10	H25
おちやしょうぼうだん 83	○	○					8-2(鴻巣)	10	H25
おちやしょうぼうだん 84	○	○					8-3(片貝)	10	H25
おちやしょうぼうだん 85	○	○					8-4(池津)	10	H25
おちやしょうぼうだん 201	○	○					団 長	5	H25
おちやしょうぼうだん 202	○	○					副 団 長	5	H25
おちやしょうぼうだん 203	○	○					副 団 長	5	H25
おちやしょうぼうだん 204	○	○					副 団 長	5	H25
おちやしょうぼうだん 205	○	○					西部方面隊長	5	H25
おちやしょうぼうだん 206	○	○					東部方面隊長	5	H25
おちやしょうぼうだん 207	○	○					南部方面隊長	5	H25
おちやしょうぼうだん 208	○	○					北部方面隊長	5	H25
おちやしょうぼうだん 209	○	○					本 団 員	5	H25
おちやしょうぼうだん 210	○	○					本 団 員	5	H25
おちやしょうぼうだん 211	○	○					本 団 員	5	H25
おちやしょうぼうだん 212	○	○					本 団 員	5	H25
おちやしょうぼうだん 213	○	○					指令室管理	5	H25
おちやしょうぼうだん 214	○	○					指令室管理	5	H25
おちやしょうぼうだん 215	○	○					指令室管理	5	H25
おちやしょうぼうだん 45	○	○					指令室管理	10	H25
おちやしょうぼうだん 66	○	○					指揮広報車	10	H25

現場指揮簡易基地局	10W	1台
車載無線機	10W	43台
携帯無線機	5W	15台

9 消防器具置場等施設の数

令和3.4.1 現在

分 団 施 設	1	2	3	4	5	6	7	8	計
消防器具置場	7	6	3	4	2	6	5	3	36
ホース乾燥柱	7	6	3	5	6	9	6	3	45
火の見櫓									0
モーターサイレン	7	7	4	6	8	14	8	3	57

※1 消防器具置場欄は、活動拠点として車両保管に使用したものを計上する。

※2 モーターサイレン欄は、ホース乾燥柱、火の見櫓及び集会所等に取り付けたものの合算を計上する。

10 令和2年度中の主な工事等の状況


工 事 名	数	場 所
マンホール柵撤去工事	1基	時之島
防火水槽蓋取付工事	1基	栄町
火の見櫓撤去工事	1基	山新田
耐震性防火水槽設置工事	2基	元中子・高梨

11 消防団協力事業所数

14事業所（うち3事業所は、総務省消防庁認定）

令和3.4.1 現在

事業所名	市 町 村	消防団員数	備 考
日本ベアリング 株式会社	小千谷市	26人	総務省消防庁認定
越後おぢや農業協同組合	小千谷市	26人	総務省消防庁認定
ユキワ精工 株式会社	小千谷市	18人	総務省消防庁認定
株式会社 第一測範	小千谷市	17人	*団員数 (R1)
阿部幸製菓 株式会社	小千谷市	5人	*団員数 (R2)
理研精機 株式会社	小千谷市	9人	*団員数 (R3)
株式会社 共栄農工社	小千谷市	5人	*団員数 (R3)
株式会社 北越トラスト	小千谷市	7人	*団員数 (R1)
秀和建设 株式会社	小千谷市	3人	*団員数 (R1)
エヌ・エス・エス 株式会社	小千谷市	7人	*団員数 (R3)
ケーエスエス 株式会社	小千谷市	9人	*団員数 (R3)
エヌエスアドバンテック 株式会社	小千谷市	8人	*団員数 (R2)
丸山建設 株式会社	小千谷市	1人	*団員数 (R3)
オヂヤセイキ 株式会社	小千谷市	5人	*団員数 (R1)
小杉土建工業 株式会社	小千谷市	3人	*団員数 (R3)



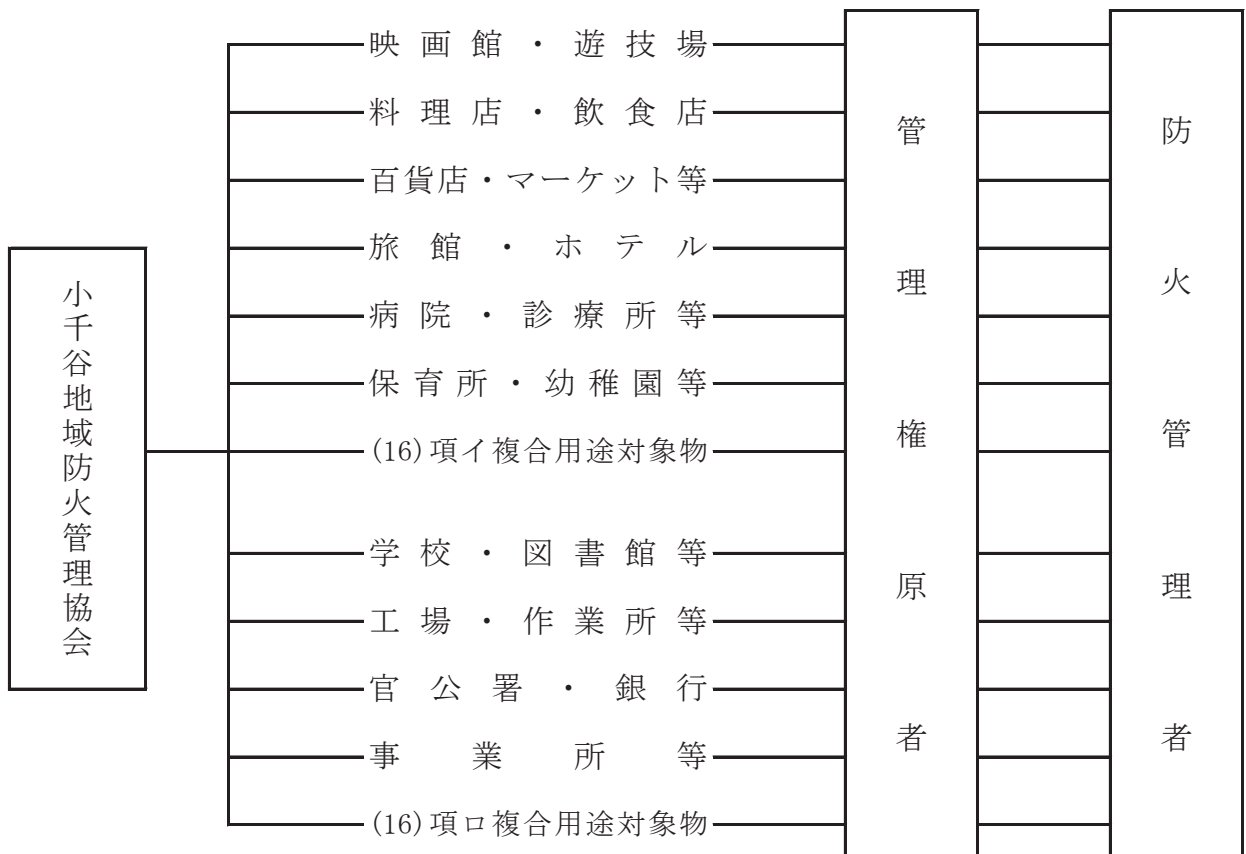
協力団体

1 小千谷地域防火管理協会

1 設 立

昭和40年 7月12日 ~ 昭和55年 3月31日 小千谷市防火管理協会
 昭和55年 4月 1日 ~ 現在に至る 小千谷地域防火管理協会

2 組織・機構



3 主たる事業

- (1) 消防機関と自衛消防隊との連携に関する事。
- (2) 関係法令等の周知徹底に関する事。
- (3) 防火思想の普及高揚に関する事。
- (4) 火災原因等防火情報の交換に関する事。
- (5) 消防訓練及び講習に関する事。
- (6) 防火管理者の教育に関する事。
- (7) 消防計画の研究に関する事。
- (8) 消防功労者の表彰に関する事。
- (9) その他、本会の目的達成に必要な事業

4 会員数 180事業所 (令和3年4月1日現在)

2 新潟県危険物安全協会小千谷地区支会

1 設 立

昭和35年 6月 6日 ~ 平成18年 3月31日

(財)新潟県危険物安全協会北魚沼地区支会

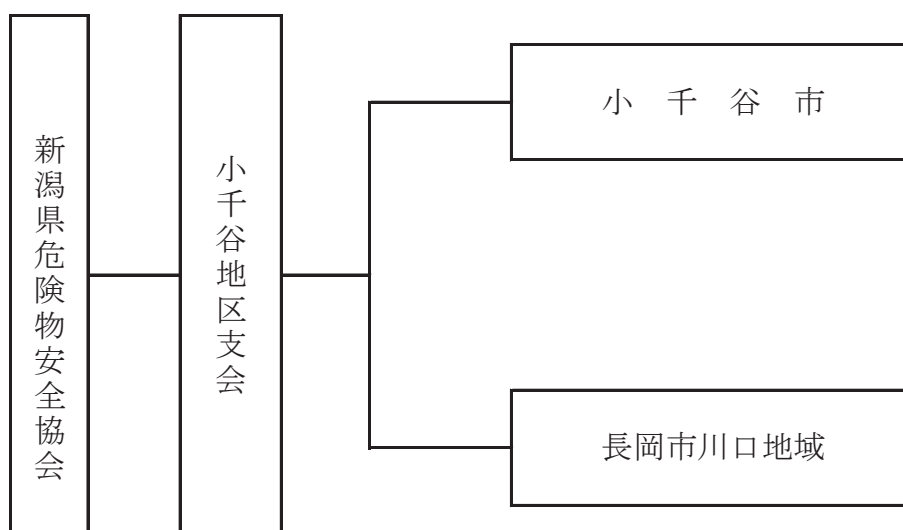
平成18年 4月 1日 ~ 平成25年 3月31日

(財)新潟県危険物安全協会小千谷地区支会

平成25年 4月 1日 ~ 現在に至る

新潟県危険物安全協会小千谷地区支会

2 組織・機構



3 主たる事業

- (1) 危険物の災害予防思想の普及徹底に関すること。
- (2) 危険物の安全な取扱い及び維持管理の研究に関すること。
- (3) 危険物の取扱いに関する各種講習会の実施に関すること。
- (4) 機関誌及び資料の発行に関すること。
- (5) 優良会員等の表彰に関すること。
- (6) その他目標達成に必要な事項

4 会員数

71事業所

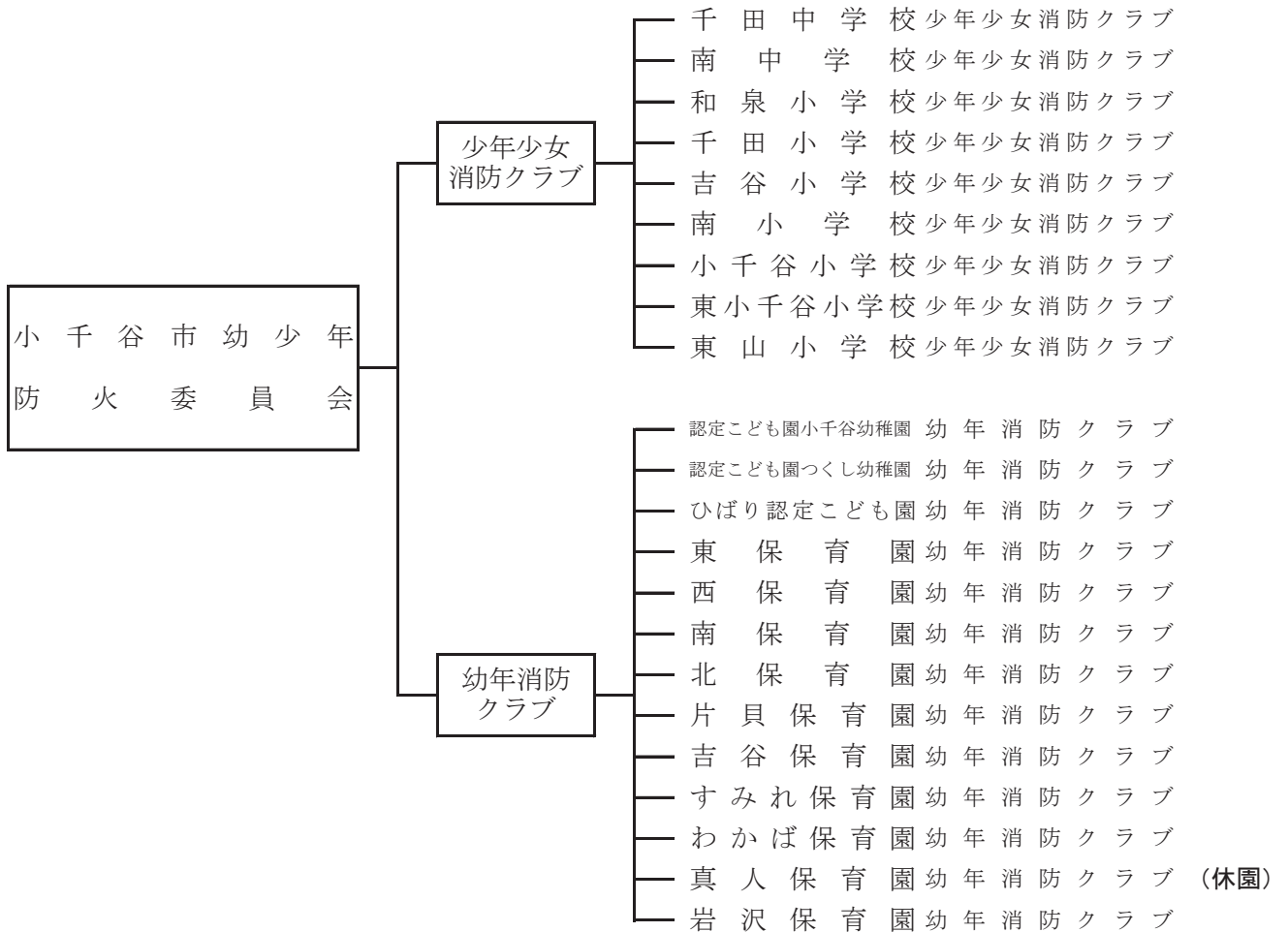
(令和3年4月1日現在)

3 小千谷市幼少年防火委員会

1 経 過

昭和56年10月13日	小千谷地域少年消防クラブ、小千谷地域婦人防火クラブ設立
昭和57年7月15日	上記2クラブを統合し、小千谷地域少年婦人防火委員会設立
昭和59年5月16日	小千谷地域幼年消防クラブ設立
平成10年5月15日	小千谷地域幼年消防クラブを統合し、小千谷地域幼少年婦人防火委員会へ名称変更
平成14年9月27日	会則を変更し、小千谷地域幼少年婦人防火委員会のクラブ組織一本化
平成22年8月4日	会則を一部改正し、小千谷市幼少年防火委員会に組織を変更
平成25年4月1日	岩沢小学校、真人小学校、川井小学校、塩殿小学校が南小学校に統廃合される

2 組織・機構



3 主たる事業

- ・ 小千谷市幼少年防火委員会
 - ア 防火防災知識の普及徹底
 - イ 防火防災のための研修及び訓練
 - ウ 各クラブ等関係組織相互間の連絡・調整
 - エ 事業所研修
 - オ 消防フェスティバルの参加・協力
 - カ その他本会の目的達成に必要な事項

- ・ 小千谷市少年少女消防クラブ
 - ア クラブの運営指導の研究に関する事項
 - イ クラブの育成指導に関する事項
 - ウ クラブの情報交換に関する事項
 - エ 外部との連絡に関する事項
 - オ その他本会の目的達成に必要な事項

- ・ 小千谷市幼年消防クラブ
 - ア クラブの運営指導の研究に関する事項
 - イ クラブの育成指導に関する事項
 - ウ クラブの情報交換に関する事項
 - エ 外部との連絡に関する事項
 - オ その他本会の目的達成に必要な事項

4 会員数

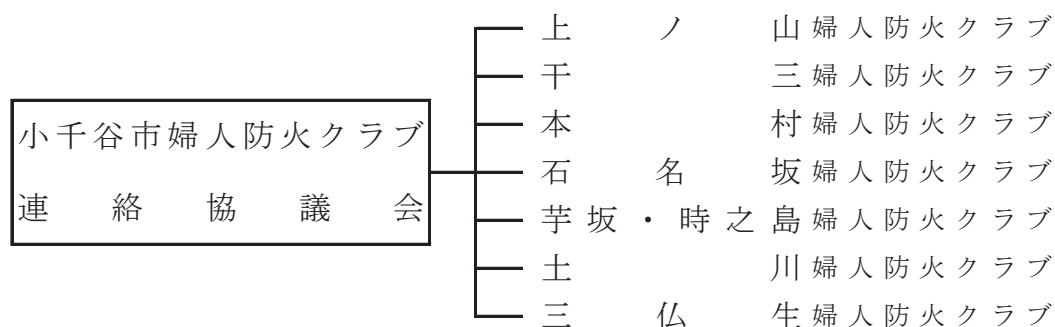
- ・ 小千谷市少年少女消防クラブ 1, 505名
- ・ 小千谷市幼年消防クラブ 516名 (令和3年4月1日現在)

4 小千谷市婦人防火クラブ連絡協議会

1 設 立

昭和56年10月13日	小千谷地域少年消防クラブ、小千谷地域婦人防火クラブ設立
昭和57年7月15日	上記2クラブを統合し、小千谷地域少年婦人防火委員会設立
昭和59年5月16日	小千谷地域幼年消防クラブ設立
平成10年5月15日	小千谷地域幼年消防クラブを統合し、小千谷地域幼少年婦人防火委員会へ名称変更
平成14年9月27日	会則を変更し、小千谷地域幼少年婦人防火委員会のクラブ組織一本化
平成21年4月1日	小千谷市婦人防火クラブ連絡協議会設立
平成22年8月4日	会則の一部改正

2 組織・機構



3 主たる事業

- ア クラブの運営指導の研究に関する事項
- イ クラブの育成指導に関する事項
- ウ クラブの情報交換に関する事項
- エ クラブ等の未設置区域の解消及び組織の拡大・強化
- オ 外部との連絡に関する事項
- カ その他本会の目的達成に必要な事項

4 会員数

- ・ 小千谷市婦人防火クラブ連絡協議会 105名 (令和3年4月1日現在)

消 防 年 報

(令和2年版)

発行 新潟県小千谷市消防本部

〒947-0028

新潟県小千谷市城内3丁目1番9号

TEL (0258) 81-0119

FAX (0258) 82-0209